

平成28年度 海外研修事業報告書

第16回ベトナム社会主義共和国派遣



ホーチミン統一会堂にて

Hanoi, Ho Chi Minh, Socialist Republic of Vietnam

研修期間：平成28年7月24日～7月30日

協力：Hanoi Industrial Vocational College

Industrial University of Ho Chi Minh City

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

国際化事業推進委員会

目 次

1. はじめに	2
2. 第16回高校生海外研修実施要項	3
3. 海外研修日程表	5
4. 海外研修・結団式	6
5. 海外研修での挨拶	7
6. 海外研修の概要	7
7. 生徒の報告	12
8. アンケート結果	48
9. 結びに	54



サイゴン大聖堂



1. はじめに

国際化事業推進委員会委員 宮 下 義 弘
(東京都立練馬工業高等学校長)

全国工業高等学校長協会主催による第16回高校生海外研修事業を、平成28年7月24(日)～30日(土)にベトナム社会主義共和国において実施しました。

本協会による海外派遣の試みは、平成8年に文部科学省の支援を受けて、生徒・教員をアメリカ・ニューヨークへ派遣したことが始まりです。正式な海外研修事業の開始は、平成13年の第1回オーストラリア派遣からとなり、第10回まで毎年派遣を続け、16日間のホームステイ及び現地校での語学研修を中心とした研修を実施しました。第11回からは訪問国をアメリカ・カナダに変更し、昨年度第15回まで毎年派遣を続け、10日間のホームステイ及び現地校生徒との交流を通して行う語学研修を中心とし、工業教育に関係する高等教育機関や公共施設・企業等の見学・訪問を交えた研修を実施しました。そして、今年度からは訪問国をベトナム社会主義共和国に変更し、今回で第16回目を迎えました。

さて、今回からの訪問先となりましたベトナムですが、ベトナム経済の中心地であるホーチミン市と、政治の中心地であるハノイ市を中心に研修を実施することとなりました。研修先変更の理由としては、参加者の経済的な負担を軽減することで、より多くの生徒が応募し易くなることに重きを置き、本協会でも検討を重ねてまいりました。目覚ましい経済発展をしている国、日本から多くの技術者が派遣されている国、工業高校がグローバル教育を推進していく中で、連携協力を視野に入れて考えるアジアの国々など、様々な角度から検討した結果、ベトナムでの実施が決定しました。ホームステイ形式による宿泊は、ベトナムでは受け入れ先を探すことが難しくホテルでの宿泊となりました。そのため語学研修の色合いは薄くなりましたが、ベトナムの政治・経済、歴史、文化、自然に触れながらの生徒20名、教員参加2名の合計22名での団体行動は、修学旅行のようではありますが、4班編成による班行動を中心としたため、現地の人々との交流も随所にみられ内容的には非常に充実したものになりました。また、日系企業視察では企業の方々との、また大学・短大では、学生との交流を通じてベトナム語、英語などによる語学研修の場にもなりました。研修期間中は保護者の皆さんに安心していただくため、また海外研修への理解を深めるため、引率教員がブログを開設し研修中の生徒の様子を可能な限り情報発信しました。

本報告書は、研修中の生徒・教員の活動体験が知識となり、活力となって更なる意欲的な活動へと変容していく様子を研修の概要や参加生徒の報告・感想をまじえて掲載しています。ご覧いただき、様々な体験活動の場面での生徒の心の動きや成長を次の4つの場面を通して感じていただければ幸いです。

- 1 大学・短大の施設見学(学生交流、文化交流、親睦、絆)
- 2 日系企業見学(日本との関わり)
- 3 観光(ベトナムの歴史、文化、自然)
- 4 研修の成果(生徒の成長、決意や抱負)

今回海外研修に参加した20名の高校生は、全国から選ばれた工業高校生です。彼らは成田空港前泊・結団式を含めると8日間の研修内容に積極的に取り組み、ベトナムの政治・経済、教育機関、企業、日常生活、歴史、文化、自然など、非常に多くのもの・人に触れることができました。

日本とは異なった文化や歴史に触れた経験は、将来、彼らを必ず自他共に尊重できるグローバル感覚を身に付けた地球市民として、また工業技術者として国際社会に貢献できる人となってくれるものと確信しています。生徒たちは、各々の将来に、少しの不安と大きな期待をもって帰国しました。この事業を通して10年後の彼らの成長した姿を楽しみに待ちたいと思います。この経験が、間違いなく彼らの人生の新たな出発点になったことをここに報告いたします。

本研修を実施するにあたり、ご尽力をいただきました関係者の皆様には厚く御礼と感謝を申し上げます。

2. 第16回高校生海外研修実施要項

① 第16回高校生海外研修実施要項

- 1 目的 国際化時代を迎え、工業高校においては国際感覚を身に付ける教育が求められています。この様な社会状況に鑑み、本協会では工業教育の活性化を図る事業の一環として本研修を実施する。
- 2 期 日 平成28年7月24日（日）～7月30日（土）の7日間
- 3 研修地 ベトナム社会主義共和国（ハノイ市、ホーチミン市）
- 4 研修内容 現地学生との交流、学校視察、企業見学、技術交流等
- 5 宿泊先 ホテル（ホーチミン市内、ハノイ市内、ハロン湾近郊）
- 6 経 費
 - （1）航空運賃及び現地の交通費、宿泊費、食費等の経費はすべて全工協会が負担する。
 - （2）自宅から成田空港までの交通費の一部を全工協が補助する。
 - （3）参加費3万円、パスポート申請料、燃油サーチャージ、空港使用料、空港税、任意の海外保険等は個人負担とする。
- 7 参加条件
 - （1）全工協会員校で学業・人物ともに良好で、所属校長と地区代表校長の推薦する生徒
 - （2）他の海外研修等に参加した経験のない生徒（修学旅行を除く）
 - （3）国際的な感覚を身に付け今後の学校生活に意欲をもって取り組める生徒
- 8 参加人員 24名（生徒22名、引率2名）

<9 地区ブロックの生徒推薦枠>
北海道1、東北3、関東4、北信越2、東海3、近畿3、中国2、四国1、九州3
引率は全工協会から委嘱する。
- 9 推薦手順
参加希望者は「海外研修参加申込書」と「参加理由書」（A4用紙800字程度）を所属校長へ提出する。
所属校長は地区代表校長の推薦を得て書類を全工協会へ提出する。
※「海外研修参加申込書」と「参加理由書」の様式は本協会HPからダウンロードする。
- 10 応募締切 平成28年5月20日（金）厳守

<応募書類提出先・問い合わせ先>

公益社団法人全国工業高等学校長協会 事務局長 山田勝彦
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1
TEL 03-3261-1500 yamada@zenkoukyo.or.jp

② 第16回高校生海外研修における教員参加実施要項

項目「1～6」と「9、10」は、生徒の実施要項と同様

7 応募条件 会員校の教員（学校長及び学校長の推薦する者）

8 募集人員 若干名

生徒数が定員に満たない場合に22名から生徒数を引いた人数を教員枠として募集する。
生徒で定員が満たされた場合は教員枠無しとする。

9 推薦手順

- (1) 希望者は生徒用の「海外研修参加申込書」並びに「応募理由」（A4用紙800字程度）を本協会HPよりダウンロードした用紙に記入し校長を通して提出する（保護者氏名、学年等について不必要な箇所は削除し、生徒氏名は応募者氏名とする）。
- (2) 校長から推薦された希望者を委員会で書類選考して、校長を通して連絡する。

※その他

- (1) 現地では引率者の指示に従い、生徒の同じ日程で行動する。
- (2) 参加者は帰国後、各自報告書（協会指定の形式）を提出する。

<応募書類提出先・問い合わせ先>

公益社団法人全国工業高等学校長協会 事務局長 山田勝彦
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1
TEL 03-3261-1500 yamada@zenkoukyo.or.jp



タンロン遺跡

3. 海外研修日程表

	月日	曜日	発着地・滞在地	現地時間	交通機関	行動予定・宿泊	食事
1	7/23	土	成田空港 (レストハウス)	15:00 15:30 17:45	各自	前日集合 結団式・事前研修	夕食
2	7/24	日	レストハウス発 成田発 ホーチミン着 ホテル着	07:00 09:30 14:20 16:00	専用車 VN301	空港第1ターミナルへ移動 チェックイン、出国審査 入国審査	朝食 機内 夕食
3	7/25	月	ホーチミン市工 業大学 工業団地 ホテル着	終日 16:30	専用車	大学見学(工業系) 企業見学(日系・現地)	朝食 昼食 夕食
4	7/26	火	ホテル発 ホーチミン市内 ホーチミン発 ハノイ着 ホテル着	09:00 16:00 18:05 19:30	専用車 VN254	視察(戦跡、戦争博物館、 サイゴン大聖堂、統一会堂 等) ハノイへ移動	朝食 昼食 夕食
5	7/27	水	ホテル発 ハノイ工業職業 訓練短大 日系企業 ホテル着	09:00 16:30	専用車	学校見学、ベトナム学生と の文化交流・技術交流 日系企業見学 国会議事堂訪問	朝食 昼食 夕食
6	7/28	木	ホテル発 ハノイ近郊 ハロン湾 ホテル着	09:00 13:30 16:30	専用車	見学(ハロン湾クルーズ)	朝食 昼食 夕食
7	7/29	金	ホテル発 ハノイ市内 ハノイ空港着	09:00 21:00	専用車	ハノイ市内視察(ホーチミ ン廟、一柱寺、文廟等) チェックイン、出国審査	朝食 昼食 夕食
8	7/30	土	ハノイ発 成田着	00:20 07:00 08:00	VN310	帰国 入国審査 解散	機内

4. 海外研修・結団式

日 時：平成28年7月23日（土） 15：30～17：30

会 場：成田エアポートレストハウス ブルースカイの間

結団式：司会（全国工業高等学校長協会事務局長）

山田勝彦

- 1 開式の言葉 国際化事業推進委員（千葉県立京葉工業高等学校長） 關 敏昭
- 2 挨拶 ①全国工業高等学校長協会 理事長（神奈川県立神奈川工業高等学校長） 後藤博史
②団長・国際化事業推進委員（東京都立練馬工業高等学校長） 宮下義弘
- 3 引率者紹介 ①団長・国際化事業推進委員（東京都立練馬工業高等学校長） 宮下義弘
②引率（愛知県立愛知総合工科高等学校専攻科教諭） 松崎克哉
③添乗員（ベストワールド（株）営業企画部マネージャー） 野本祐史
- 4 参加生徒自己紹介
- 5 生徒宣誓 北海道札幌琴似工業高等学校（電気科 3年） 生徒
- 6 閉式の言葉 国際化事業推進委員（東京都立中野工業高等学校長） 鴻野 誠
- 7 写真撮影
- 8 事前研修 ①日程及び内容説明 ②ブログの開設
③報告書作成 ④ベトナムの状況
⑤全般的な諸注意 ⑥その他
- 9 出席者 国際化事業推進委員会：宮下義弘、關 敏昭、鴻野 誠 引率者：松崎克哉
理事長：後藤博史 事務局：山田勝彦事務局長、石井末勝事務局次長
協力者：國馬隆史（前千葉県立千葉工業高等学校長・前理事）
添乗員：野本祐史（ベストワールド株） 参加生徒及び保護者、参加教員
参加生徒 20名

都道府県	学校名	都道府県	学校名
北海道	札幌琴似工業高校	愛知県	名南工業高校
岩手県	盛岡工業高校	岐阜県	岐阜工業高校
山形県	山形工業高校	滋賀県	彦根工業高校
福島県	郡山北工業高校	京都府	京都市立伏見工業高校
茨城県	玉造工業高校	大阪府	大阪市立東淀工業高校
東京都	墨田工業高校	広島県	福山工業高校
神奈川県	藤沢工科高校	愛媛県	松山聖陵高校
山梨県	韭崎工業高校	鹿児島県	出水工業高校
長野県	松本工業高校	宮崎県	宮崎工業高校
静岡県	藤枝北高校	沖縄県	美里工業高校

参加教員 2名

新潟県	新津工業高校	三重県	桑名工業高校
-----	--------	-----	--------

5. 海外研修での挨拶

1 結団式での生徒宣誓

北海道札幌琴似工業高等学校 生徒

全国工業高等学校長協会主催「第16回高校生海外研修」の参加にあたり、参加者を代表して宣誓します。

私たち20名は、日本の工業高校生代表としての自覚を持ち、この海外研修においてベトナムの歴史や文化・技術を学ぶとともに、現地の方や共に研修する仲間との交流をとおりしてコミュニケーション能力を高め、一人一人が自他共に尊重できる国際的な人となるよう、何事にも積極的に取り組み、挑戦します。

そして、この貴重な体験をとおりして、研修を企画してくださった方々や両親など、支援してくださったすべての方に対し、この場に戻ったときに人として成長した姿をお見せできるように、一生懸命研修することを、ここに誓います。



6. 海外研修の概要

第16回海外研修団長 宮下 義弘
(東京都立練馬工業高等学校長)

1 はじめに

本協会の高中生海外研修は、今年で16回目を迎えた。研修先は、昨年度までのカナダに替え、今年からはベトナムである。ベトナムは近年の急速な経済成長により工業技術者の需要が多く、大学・専門学校等の教育により人材育成が図られている。このため、研修の中心的内容はホーチミン市の工業大学、ハノイ市の工業職業訓練短期大学、ジェットロが発行している優良企業リストに名を連ねる日系企業の訪問である。研修参加者は、男子生徒11名、女子生徒9名、教員2名、引率者2名の合計24名である。南北に長いベトナムの政治の中心、経済の中心となる各都市における研修に加え、カトバ島での国際ワークキャンプ、世界遺産ハロン湾の見学など、日本国内では得ることのできない貴重な体験をもとに、これからの国際社会で活躍できるグローバルリーダーの育成を目指したい。



結団式後の集合写真(レストハウス玄関)

2 活動内容

1日目【7月23日(土)】

成田エアポートレストハウス：15時集合

結団式：15時30分～17時30分、全工協会長、国際化事業推進委員、事務局、保護者立ち合いのもと、全工協会長挨拶に始まり、引率者紹介、参加者紹介、生徒宣誓、写真撮影

を行った。引き続き事前研修へと移り、終了後は夕食を囲みながら情報交換に夢を膨らませた。食後は、レストハウスの各自の部屋で翌日の出発に備えた。

2日目【7月24日(日)】

旅立ち。午前6時50分レストハウスのレストランで朝食を済ませ7時にロビー集合。成田空港第一ターミナル北ウイングのベトナム航空カウンターでチェックイン。その後、出国審査を終えていよいよ搭乗。我々を乗せた飛行機は予定通り9時30分に離陸。13時10分（現地時刻）ベトナムホーチミン市の空港に着陸。混雑により入国手続きに時間がかかるが全員無事に通過。現地のガイドと合流しバスにて市内視察へ。はじめに統一会堂（元南部官邸）を視察、その後、サイゴン大聖堂、中央郵便局を視察してホテル（パレスホテルサイゴン）へ。



統一会堂の噴水広場での集合写真



中央郵便局



サイゴン大聖堂

3日目【7月25日(月)】

大学、日系企業訪問。7時朝食。9時にホテルを出発し、午前中は、ホーチミン市工業大学（国立大学）を訪問。副学長のあいさつに始まり、研究室、実習室、図書館などを視察。質疑応答では、生徒からも積極的に質問が出された。最近ではIoTブームによりIT関係を学ぶ学生が増えている。ベトナム料理の昼食を済ませ、午後からは、TBM - MINH PHAT（TBM ミン パット）という射出成型によるプラスチック容器の製造をしている工場を視察。日本の菓子メーカーの容器も製造しており、生徒達は身近に感じた様子であった。



ホーチミン市工業大学



ホーチミン市工業大学

4日目【7月26日(火)】

6時30分朝食。8時ロビー集合。午前中はベトナム戦争時の遺跡として有名なクチトンネルを視察。クチトンネルは、ホーチミン市の西北70kmほどのクチ村という場所にあり、ベトナム戦争時には鉄の三角地帯と呼ばれ、アメリカ兵にゲリラ戦を仕掛けるために地下にトンネルを掘り生活をしていた場所である。写真は、点在するトンネルの入り口の一つで、中はアリの巣のようになっていて、総延長は2kmにも及ぶ。



クチトンネルにて

午後はハノイまで約2時間の空の旅。空港着後はハノイ市内のホテルへ。国会会期中であることの情報入手していたが、国会議員の出席が予想を上回り、我々の泊まる予定の

ホテルに国会議員が急遽宿泊することとなり、チェックインの手続きをするはずが、別のホテルを紹介するのでそちらに宿泊していただきたいとの話が浮上した。全員をロビーで待機させホテル側と交渉。紹介されたホテルに向かい疲れた体を休めた。

5日目【7月27日(水)】

職業訓練短期大学と日系企業訪問、夕方には、外務副大臣との面会、国会議事堂の見学が予定されている。短大では今回の研修では初めてのとなる学生との交流がある。朝食7時30分、集合9時15分。午前中は、ハノイ職業訓練短期大学を訪問した。夏休みにも拘わらず副校長以下多くの職員と学生に出迎えられた。あいさつに引き続き、学生達による少数民族の踊りや歌が紹介された。その後は、校舎内の見学をして、昼食は短大側で用意してくださったベトナム料理をいただきながら会話が弾んだ。食後は、日本竹とんぼ協会からいただいた竹とんぼを使っての学生交流を行った。

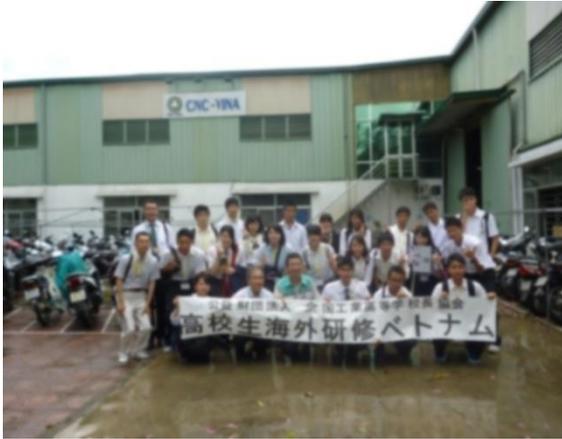


お土産の竹とんぼで交流

あっという間に親交が深まり、童心に戻って夢中に飛ばす姿があった。中には校舎の屋上にまで達した竹とんぼもあり歓声があがった。お別れには、互いの代表生徒からのお礼の言葉で締めくくられた。

午後は、日系企業CNC-VINAを訪問した。若手の労働者が非常に多く、機械も最新式のものが多数導入されている企業で、ベトナムでは最先端といえる高度な加工技術を備えた

優良企業であった。2007年創業の新しい企業で、当時は日本の企業を退職した優秀な技術者を雇用して自社の技術力を高めたそうである。社員は、創業当時からほとんど変わっていないというのも大変驚かされた。



日系企業

企業視察後は、一度ホテルに戻り、国会終了の5時30分に国会議事堂に到着。日本の工業高校の代表がベトナムを訪問するという情報を旅行業者が元外務大臣に話を通したところ、外務副大臣を含む3人の議員と接見できることとなった。訪問の目的や今後の工業教育、インフラ整備等が話題となり、生徒からもベトナムの新幹線計画の質問があった。その後、議事堂地下の一般非公開の博物館を特別に案内され、全員が大変感激した。



国会議事堂内の会議室にて会談(?)

6日目【7月28日(木)】

昨夜からの台風の影響で、出発時刻や見学先も含めた検討が必要となった。ハロン湾を視察する予定を翌日にまわして、午前中は市内のホーチミン廟、タンロン遺跡を視察夕方、

ハロン湾のホテルに到着するように変更した。生徒への連絡は当初の予定通り、朝食7時30分、ロビー集合9時とした。ロビーで待機しつつ、台風の影響を考えながら9時過ぎに出発。市内のあちこちで250本を超える街路樹等の倒木があり、電線が切断され停電している地域もあり、警察、消防等が出動して復旧作業を行っていた。ホーチミン廟の駐車場に向かう途中、我々のバスも通行止めによる影響を受けたが、見学先が隣接していたため、大きなタイムロスがなく視察を継続することができた。ホーチミン廟見学後には小雨となり、タンロン遺跡では曇りへと天候も徐々に回復していった。空港の荷物検査以上に厳しかったホーチミン廟の厳重な警備に戸惑う生徒たちであったが、安らかに眠る元大統領の姿を見て、国民から大切にされている様に感心させられた。市内のレストランにて昼食を済ませ、午後は世界遺産のハロン湾へ向け。途中休憩も含めておよそ4時間バスを走らせた。



タンロン遺跡

7日目【7月29日(金)】

長い一日。夜行の飛行機で成田へ向かうハード・スケジュールな一日が始まった。7時朝食、8時30分出発。海の桂林と言われる世界遺産のハロン湾視察。石灰岩でできた山々が海面から聳え立つ。自然がつくり上げた造形美と言われるベトナムの景勝地で、鍾乳洞もいくつかある。今回はその中で最も大きな鍾乳洞を見学した。昼食は、ハロン湾に浮かぶ船上で海鮮料理をいただくという研修最後のご褒美のような至福のひと時であった。下船後は、ハノイ市内へバスに揺られて4時間。機内泊となるため、市内のホテルで部屋を借りて汗を流した後、ベトナムでの最後となる夕食を済ませ一路空港へ。午後9時ころから出国などの手続きを済ませたが、搭乗したのは、飛行機が90分遅れて到着したため、翌日の現地時間の午前1時15分。離陸は午前2時を回っていた。



世界遺産ハロン湾



鍾乳洞見学で訪れた島で集合写真

8日目【7月30日(土)】

日本時間、午前9時。全員無事に成田空港へ到着。到着が遅れたことで、乗継の飛行機の時間が迫っている生徒等も居り、簡単に解団式を済ませ解散。名残を惜しむ生徒も多数いたが、それぞれの故郷へと向かった。

5 おわりに

海外研修に参加した全国から選ばれた高校生20名、教員2名は、各々が自覚を持ち研修し、目的を十分に達成できたことと思う。

昨年までのホームステイとは異なり、修学旅行のように全員が同行動をする形式に変更したため、4班編成の小集団を設け、リーダーとなる班長を決め、班行動を中心とした。班長全員に感謝する。

また、毎日の研修記録をノートにまとめ、健康状態も記載させ、食後の班長会の際にノートを班毎にまとめて提出させた。引率者は記載内容を点検しコメントを付けて翌日の朝食時に返却することで、一人一人の研修の成果と体調の管理を行った。

ベトナム戦争の歴史、中国、フランス、日本、アメリカとの歴史的な関わり、12世紀頃に栄えた宮殿の遺跡など、ガイドさんが4千年の歴史と語っていたが、歴史的なものに限らず、高層ビル、地下鉄、道路の建設など、生まれ変わりつつある現在のベトナムの姿も存分に堪能することができた。英語での会話は少ないが、大学や日系企業の方々との交流があり、人と物の両面からベトナムを視察するという貴重な体験となった。この経験が工業人としての生き方に役立つことを祈念して報告する。

7. 生徒の報告

海外研修を終えて

北海道札幌琴似工業高等学校
電気科 3年 生徒

私は、ベトナムという国について、あまり知らないまま研修に参加してしまいました。それゆえ、ベトナム戦争のため平均年齢が28歳であることや、燃えてしまう可能性のある紙幣を蓄えるのではなく、どの家庭でも純金を蓄えていることや、日本のような発展を目指し、日々目を見張るような成長を遂げていることをあまり理解せずに、ベトナムの地を訪れました。

研修ではクチのトンネルを視察し、しゃがまないと通れないようなトンネルを実際に通りました。アメリカ軍の攻撃にも耐え抜いたクチの人々の決して折れない心を体感し、統一会堂で当時の大統領の戦略も見て、ベトナム戦争の戦跡を痛いほど感じてきました。予備知識もないまま訪問してしまった私にはかなり衝撃的で、平和に暮らしてきたいままでの人生がとても幸せだったことに気がきました。ベトナムでは水道水も飲めませんし、シャワーからお湯が出ることも当たり前ではありません。また、社会主義国なので私たち日本人よりもっと『自由』と呼べるものは少ないはずです。それでも、交流した大学生と竹とんぼで遊んだことや、お互いの言葉がわからないなりに話に花を咲かせ笑顔になれたこと、見学させていただいた企業の5Sや品質改善に取り組む姿や、その人たちの明るさに触れ、強い気持ちが自分の中に芽生えるのを感じました。『この研修で得たものを、これからの自分や後輩、そして周りの方に繋ぎ、糧にしていかなければならない』と。

約一週間という短い期間で、ここまで自分が変化していくのを実感したのは初めてです。ともに研修をした仲間ともこれほどまでに仲を深めることができたのも、奇跡に近いと思っています。私は本当に何物にも代えがたい

体験をしたのだと、日本で過ごし、改めて感じました。ベトナム、そして海外に対する気持ちが変わり、私の視野も広がりました。ベトナムでのもう二度と体験できないであろう経験や、仲間との思い出は、きっと生涯忘れることはありません。



「46℃の暑さに負けない！」
(統一会堂にて)



「大学生との貴重な交流体験」
(Hanoi Industrial Vocational Collegeにて)



「とても気さくな方たちでした」
(TBM-MINH PHATにて)

海外研修に参加して

岩手県立盛岡工業高等学校
電気科 2年 生徒

1. 大学見学

大学生との交流のため Hanoi Industrial College に行きました。大学の皆さんは、フレンドリーで話しやすかった為、たくさんコミュニケーションをとることが出来ました。相手に英語が伝わらないときは、ジェスチャーや Google 翻訳を使用して意思疎通を図る等の工夫をしてくれたのでとてもありがたかったです。

昼食も一緒に食べました。ベトナム料理の食べ方を身振り手振りで教えようとしてくれたので、伝えたいことが伝わったときはお互いに嬉しかったです。

共通語である英語しか相手には伝わらないので、英語を使う力が鍛えられました。今後は英語の勉強にさらに力を入れて多くの国の人たちとコミュニケーションをとれるようになります。

交流は自分が想像していたより楽しくて、来てよかったと実感することができました。



ハノイの大学にて

2. 企業見学

企業見学の為、TBM - MINH PHAT へ行きました。話を聞くと、日本の企業から学んだ 5S を意識しているとのことでした。この 5S を取り入れたことにより、業績を 10~20%

up させることが出来たというお話がありました。それにはとても驚きました。

その工場では、日本でも売られている「e - ma (のど飴)」のケースやタッパー、更にはつけまつげ等を生産し日本に輸出していました。精密なものを作るにあたって、クリーンルームをはじめとした日本に引けを取らない設備や技術があるように感じました。

また、品質管理の面でも日本の企業から学んだことを生かし、自分たちのアイデアも取り入れながら商品の品質を高めていることが伝わってきました。私たち日本人も負けないように、工夫や改善をしていかなければ厳しい競争社会では生き残っていけないのではないかと感じました。



TBM-MINH PHAT にて

3. 観光

今回の研修では、沢山の観光スポットへ行きました。クチのトンネルからクルーズまで様々な場所に行くことが出来ました。印象深かった場所も幾つかありました。

一つ目はホーチミンの市場です。私は、幾度となくベトナムの商人の押し売りにあいました。断ってもしつこく売ろうとしてきて大変でした。

その他にも日本との違いに驚いたところが沢山ありました。まず、物価が安いことです。物価は日本の三分の一程と言われています。日本では高く買えないようなものが手頃な価格で取引されているのは少し羨ましかったです。そして、商人が値下げの交渉に応じて

いるという、あまり見たことがない光景が普通に行われていることにも日本との違いを感じました。

また、観光の合間のバス移動の時にもバイクの多さに圧倒されました。特に警察官までもがバイクに二人乗りしているのは、日本人の私にとっては衝撃的でした。



ホーチミンにて

4. クチのトンネル

戦争時に掘られたクチの地下トンネルにも入りました。戦争当時は数千人の人々が暮らしていたようで、現在では観光名所にもなっていました。クチのトンネルについての歴史から、今のベトナムに至るまでの成長がよく分かりました。トンネル内はとても息苦しく移動が大変でした。戦争を乗り越えたベトナムの過去と大きな力を、身をもって感じました。クチのトンネルを観光したことにより、国が発展するにあたって今現在の現状だけではなく、それまでの過去を知り、理解することが発展の近道になると思いました。

5. 感想

ホーチミンは日本を追い抜くペースで発展していました。建設中の建物や地下鉄は日本と比較しても、全く引けを取らない程先進的でした。そして、多くの日本企業と連携していることにも驚かされました。

企業見学では、5Sを採用している企業を見学しましたが、5Sを採用する前と後での

業績の違いを見るとその成果は一目瞭然でした。それがその企業の強みだと知り、自分が将来社会人として働く立場になった時に生かせると思いました。

この海外研修に参加して得たものは知識の他にもありました。それは、友達です。短い間でしたが本当に楽しく、共に充実した日々を送ることが出来ました。一緒にたくさんの事を学んだ友達とは、またいつか会えたらいいと思っています。

私は将来、過去のベトナムの様に途上国が発展するにあたって必要とされる人材になりたいと思います。その時、この研修で学んだことを生かし、そして研修で出会った友達と一緒にその役割を担うことが出来たらとても幸せです。

今回の研修に参加させていただくにあたって、全国工業高等学校長協会事務局長をはじめ、関係の先生方に感謝申し上げます。また、出会った全ての皆様に感謝しています。本当にありがとうございました。

ベトナムでの研修を終えて

山形県立山形工業高等学校
機械システム科 3年 生徒

1. Hanoi Industrial Vocational College

こちらの大学では、研修4日目にして初の大学生との本格的な交流となりました。

夏休み期間にも関わらず、たくさんの学生の方々が私たちを出迎えてくださいました。ベトナムの歌や、ダンスを鑑賞し校内の説明を受けた後、交流も含めて学生のみなさんと一緒に昼食を食べました。

交流といっても、観光用のベトナム語の本では思うように意思を伝えられず、日本語はもちろん通じません。私の精一杯の英語も伝わらず、最初はあたふたしてしまいました。しかし最後には、翻訳アプリを活用したり、ジェスチャーを交えたりして昼食を楽しむ暇がないくらい楽しい時間を過ごすことができました。

最後に日本文化の紹介として、折り鶴を一
緒に折り、外で竹とんぼを飛ばしました。私
たちよりも学生の方のほうが飛ばすのが上手
く、バスの屋根の上に上がってしまったり、
どこへいったかわからなくなったり…多少ハ
チャメチャではありましたが、楽しんでもら
えたようで嬉しかったです。



ベトナムの学生の方たちと

2. TBM - MINH PHAT

日本の品質を求めて、プラスチックの容器
から点字ブロックまで幅広い製品を設計から
製作まで手掛けるという企業です。5SやQ
Cなどを徹底して取り入れたことにより、生
産効率や労働者の意識が向上したといひます。

以前私は、ベトナムの中小企業では設備へ
の投資が難しく、中古機械を使うことが多い
という記事を読んだことがありました。その
ことについてミン社長に訊ねたところ、金型
を製造する機械は中古機械では精度が出せな
いため、すべて最新の新しい機械を導入。そ
の他はよく検査してから日本などの中古機械
を利用しているとのことでした。このような
企業はやはり多いようです。

また、女性の雇用状況について質問したと
ころ、全体の4割は女性で、開発から製造ま
で様々な分野に配属し平等に扱っていると
おっしゃっていました。学校行事として地元の
企業で見学を行うと、やはり女性の姿は少な

いように感じます。ベトナムは日本に比べ、
男女の差は少ないように感じられました。

3. クチトンネル

クチトンネルとは、全長約250kmもの地下
トンネルのことです。ベトナム戦争時には、
南ベトナム民族解放戦線によるゲリラ戦の有
力な拠点だったとされています。私たちは日
本語で制作された映像資料を見た後、地図や
図形をもとに、この地区の特徴やトンネル内
の構造について説明を受けました。

「映像だけでは伝わらないから」という現
地のガイドさんの言葉の意味を、私たちは実
際にトンネル内を歩いてみて初めて知りまし
た。みんなで係の方の後ろをゾロゾロとつい
ていくと、トンネル内では想像以上の湿度と
狭さ、そして暗闇が待ち構えていました。こ
れではどこに落とし穴があっても、攻撃され
ても予知できない…。この迷宮の中で30年間
闘い続けた団結力と強い意志は簡単にマネで
きるようなものではないと感じました。

4. ベトナム料理

今回の研修の中で、私たちはきっと一生分
のベトナム料理を食べたのではないかと思う
ほどベトナム料理を堪能しました。

ベトナムは米の輸出量が世界2位であり、
北部地方では日本のように多くの水田や水牛
をみることができました。しかし、フランス
植民地時代にパン食の文化も広がった為、し
っとりとしながらも空気を含んだ軽い食感の
美味しいパンを堪能することができました。
路上で何度も見かけた「バインミー」はいつ
か食べてみたいと思います。

5. 感想

この研修を通して、私は2つのことを感じ
ました。

一つ目は、言語についてです。普段、英語
の授業以外では恥ずかしさから英語を使うこ
とはありません。しかし、飛行機の中や現地
の方との交流の中で、必然的に英語を使わな

ければならない場面が多々ありました。学校で学習したことが実践できているという興奮と同時に、気持ちをうまく伝えられないもどかしさから自分の語学力の低さを感じ、悔しさが残りました。これからは、実践を意識した学習を心掛け、ALTの先生などと積極的に会話をしてコミュニケーションを取ろうとする姿勢を大切にしていきたいです。

二つ目は、世界は広いということです。飛行機でたった数時間移動しただけなのに、そこにはこれまで知らなかった「人と暮らし」がありました。それに加えて全国から研修メンバーが集まったことにより、移動のバスの中で絶えないのはたくさんのご当地ネタでした。言葉、文化、風習など、世界だけではなく、自分の国のことさえこんなにも無知だったとは思いませんでした。自分がこれまで見てきた視野の狭さや知識の浅さを身に染みて感じました。

若い人達の活気にあふれ、急速な発展を遂げている国ベトナムは、たくさん笑顔が溢れる素敵な国でした。



ホーチミン市の街並み

この一週間は私にとって、これまでの人生の中で最も刺激的なものとなりました。この研修の為に協力して下さった家族や先生方、引率して下さった現地のガイドの方や通訳の方、そして先生方、研修を企画して下さった工業高等学校長協会の方々、本当にありがとうございました。途中で少し体調を崩し

てしまったこともありましたが、大事に至ることなく最初から最後までこの研修を満喫することができました。ここで学んだことを今後の生活に生かしていただくだけではなく、この研修での出会いをこれからも大切にし、見たこと感じたことを学校内外に発信していきたいと思います。



研修メンバーのみんなと

実りある一週間

福島県立郡山北工業高等学校
化学工学科 3年 生徒

1. 大学見学

私たちは研修中2か所の大学を訪問した。どちらの大学も made in Japan の機械が多く導入されているように感じた。

大学生の方との交流も用意してあり、歓迎の踊りや歌で私たちを迎えてくださった。それらの踊りや歌は私たちにとって新鮮なもので、楽しく現地の方々と交流をすることができた。日本からはお土産を持ち寄りプレゼントし全体としては竹とんぼを飛ばし交流を深めた。

光があればおのずと影はできる。私は、今は明るいベトナムの影というべきか、ベトナム戦争の影響があるのかと、考えたことがある。それは環境に対する意識がとても高いということだ。ITに力を入れている大学でも環境に関する博士号が取れ環境科もあった。こ

れはベトナム戦争で化学物質の環境や人体に及ぼす影響を、身をもって知っているからだと思う。



現地の学生との交流

2. 企業見学

研修中 2 か所の企業を訪問した。1つはプラスチックの形成を行う会社。もう1つがバイクのパーツなどを作る会社。どちらの会社も日本のカイゼンや5S、QCを取り入れていた。社長さんの話によるとQCなどを入れる前と後では明らかに業績が上がったということだ。日本から遠く離れたベトナムでも日本のカイゼン等が活躍していると聞いて、誇らしい気持ちになった。ここでも made in Japan が活躍していた。



工場内の様子

3. 観光

研修中、大学・企業訪問とは別にベトナムの文化の学習ということで様々な観光地を観光した。ベトナム戦争の爪痕残るゲリラの拠点クチトンネルへ行き実際にトンネルに入っ

たり、国会議事堂を見学したり本当に貴重な体験をした。

中でもホーチミン市とハロン湾で乗ったクルーズは格別だった。



観光中の写真

4. 感想

今思い返すと本当に充実した1週間だったと感じる。今回の経験をこれからの人生に活かすことを誓う。

推薦して下さった先生方、支えてくれた家族、共に1週間を過ごした最高の仲間、この全員に感謝している。

本当にありがとうございました！！(Xin Cảm ơn.)

A Unique Experience

茨城県立玉造工業高等学校

電気科 2年 生徒

1. Prologue

今日、アジアでは多くの国々が後進国から先進国になるために日々努力を重ねています。中でも今回私たちが訪問したベトナムは経済成長率6.3%と世界第2位で、今最も注目されている国です。私たちは、ベトナムは日本に今後何を期待し、また日本はベトナムから何をすることができるかを知るために、今回の研修に参加しました。

2. University Tour

私たちは今回の研修で様々な場所を訪問しました。その1つである大学見学では、ホー

チミン市工業大学とハノイ工業職業訓練学校へ行きました。私は現地の生徒や先生たちと上手くコミュニケーションがとれるか心配でしたが、みんなとてもフレンドリーですぐにその場で打ち解けることができました。大学の中には見たことのない機械がたくさんあり、設備も良くてとても驚きました。



ハノイ工業職業訓練学校の生徒と

3. Enterprise Tour

企業見学では、私たちがよく口にしている e - ma のど飴のケースなどのプラスチックの製品を主に製造している企業や、携帯電話や自動車の部品の製造・組み立てを行っている企業を訪問しました。そこでは日本の 5 S が用いられており、工場内はきれいに整理整頓されていてとても快適でした。

4. Sightseeing

ホーチミンでは元大統領の家やサイゴン大聖堂、中央郵便局、そしてクチのトンネを見学しました。中でもクチではベトナム戦争でクチの人々が実際に使用した地下トンネルを通ってみたり、アメリカ兵と戦うために作られた様々なトラップを見たりすることができ、普段見られないようなものが見れてとても興味深かったです。

ハノイでは国会議事堂やホーチミン廟、ハロンでは世界遺産に登録されているハロン湾を見ました。国会議事堂では国会外交委員会の副会長を始め、様々な方と話をしたり、地下の博物館を訪れました。ホーチミン廟には

ホー・チ・ミンさん本人の遺体が冷凍保存されていてとても驚きました。そして世界遺産であるハロン湾では海にそびえ立つ大きな岩や、島の中にある鍾乳洞を見てとても感動しました。

5. Vietnamese Culture

ベトナムの料理には香り付けなどに様々な香辛料や果物を使用しており、日本では見かけないようなものばかりでしたが、どれもとても美味しかったです。

交通はバイクが主流で今回の研修で数え切れないほどのバイクを見てとても驚きました。日本のどこを探してもあんなにたくさんのバイクを見ることはできないと思ったほどでした。ですが、バイクはほぼ原付で、日本でよく見るスポーツタイプや大型のバイクは、ほとんど見かけませんでした。



ホーチミン市にて

6. Epilogue

私は海外へ行くのは初めてで、とてもワクワクしていましたが、研修のメンバーたちや、ベトナムの人たちと上手くやっていけるのか、食べ物は安全で口に合うのかなど、不安もたくさんありました。しかし、今回出会った人たちはみんな優しく、フレンドリーであたたかい人柄だったので心強く感じました。食べ物も特にお腹を壊したりせず、味もとても美味しかったので良かったです。

ベトナムの空気は日本とは全く違い、始めは頭がくらくらしたりしましたが、すぐに慣れました。

ホテルは本当にここに泊ってもいいのかと思うくらいとても豪華でした。

物価も非常に安く、持ってきたお小遣いもほとんど使わなかったです。

そして、ベトナムの人たちは日本に「技術」や「教育」について学びたいと言っていました。逆に日本はベトナムの人たちのように明るく、積極的で誰とでもすぐに仲良くなれるような国民性を見習えば、日本はより良い国になれるのではないかと、私は思いました。

最後に今回研修に無事参加し、多くのことを学ぶことができたのは、たくさんの方々のおかげです。本当にありがとうございました。



みんなでディナー

ベトナム海外研修に参加して

東京都立墨田工業高等学校
自動車科 2年 生徒

1. ベトナムの大学と短大の見学

ホーチミン市工業大学は、生徒数約4000人で、男子が7割を占め、今年で60周年を向かえる大きな大学でした。ベトナムは治安が悪く貧困というイメージでしたが、ほとんどの学生が大学へ進学するようで驚きました。施設には、うちの高校で使っている機械があり、親近感がわきました。

ハノイ工業短大では、ハノイの学生からベトナムのダンスや歌や民族舞踊を披露して頂き、一緒に昼食をとり、お土産を渡し、とても楽しかったです。会話は、英語で行い、伝わらない時はジェスチャーで伝えました。言

葉のカベを乗り越えた時、とてもうれしくなりました。また、英語力の限界を痛感し、帰国したら、英語の勉強をもっと頑張ろうと思いました。



ホーチミン工業短大の生徒と交流

2. 企業見学

日本にプラスチック容器を提供しているTBM - MINH PHATという工場へ行きました。そこでは日本の技術の他に5Sやカイゼンなどを取り入れていました。この工場では商品の型を自分たちで造っているそうです。日本で売っているe - maのど飴の容器を造っていて驚きました。また、ベトナムCNCという会社にも行きました。以前、日本のヤマハに勤めていた社長さんに社内を案内して頂きました。良い製品を造るために日々努力している企業で、日本の技術を取り入れてくれていて、とてもうれしく思いました。

日本は、いつまでもベトナムの企業の手本になるように心がけるべきだと思いました。



工場の5Sへの取り組み

3. 市内観光

ホーチミンとハノイで市内観光をしました。ホーチミンでは、主にショッピングをして、初めてベトナム紙幣を使いました。ベトナムの物価は、日本の三分の一だったので安く買えるのですが、紙幣は万単位なので日本人にとっては、計算がとても面倒でした。簡単に表すなら、18200 ドンで 100 円になります。計算をしてやっとの思いで買ったお茶は、私の口にはあまり合わず、とてつもなく甘くて驚きました。お店の方は、優しい方ばかりで、沢山値引きしてくれました。意外にも、英語が通じず、日本語の方が通じるお店があり、面白かったです。

ハノイでは、ホーチミン廟、タンロン遺跡やハロン湾へクルージングに行きました。その中でも、ハロン湾は、世界自然遺産に認定されているそうです。その日は生憎の雨で、船のデッキの上から、壮大な景色を見ることができなかったのですが、紙幣に載っている岩や風景を見られてよかったです。



＜世界自然遺産＞ハロン湾 ニワトリ岩

4. ベトナムの食文化

ベトナムの食事はタイ米と、フォーという米粉を使った麺が主菜で、魚介類とパクチーという香草が必ず使われていました。水道水は飲めず、日本人は氷も気をつけなければなりません。貴重な機会なので、気をつけながら、ベトナム料理を堪能しましたが、お腹をこわしてしまいました。しかし、この経験により、当たり前前にたべていた日本食の美味しさと蛇口をひねれば安全で美味しい水が飲め

る日本の素晴らしさを痛感しました。日本に感謝です。

5. 感想

今回の海外研修で、色々な経験をさせて頂きました。ベトナムの企業見学では、日本の技術を取り入れている事を知り、日本を誇りに思い、ベトナムの学生との交流会で、英語が通じたときの嬉しさは、普段の授業とは違いとても気持ちが高まりました。また、一緒に過ごした他校の研修生とも交流を図る事ができ、色々な刺激を得ました。あつという間の8日間でしたが、とても楽しかったです。

この研修で、経験し、知り、学んだ事は、一生忘れず、今後の学校生活に活かし、自分以外の友人にも伝えたいと思います。

引率して下さった先生、一緒に過ごした研修生、スタッフ、現地のみなさん本当にありがとうございました。そして、この貴重な機会を与えてくれた先生、両親に感謝しています。ありがとうございました。

今後も、この素晴らしい海外研修が続きますように願っています。

Nhật bản を出て、越南で見えたこと

神奈川県立藤沢工科高等学校
総合技術科 3年 生徒

1. Hanoi Industrial Vocational College

この研修の大きな企画の一つである。「ハノイ工業職業訓練短期大学での現地学生、教授との交流」で、私はどのようにコミュニケーションをとればいいのか考えていました。そこで私は、英語とジェスチャーを使用してコミュニケーションをとることにしましたが、難しく“携帯電話の翻訳アプリ”を使用しました。すると、現地の学生たちも同じように翻訳アプリを使用してコミュニケーションをとりました。

学生からは、「日本のどこに住んでいるか」「ベトナムの感想」「ベトナム語を学びたいか」

など質問され、団員達とはぐれてしまいそうになるほど、積極的に話しかけてくれました。一緒に昼食をとり、各自が持参したお土産を渡していました。その後、“特製 竹とんぼ発射装置”で遊びましたが、飛ばすのに多少コツが必要でなかなか飛ばみませんでした。しっかり飛ばすと 30m 近く飛びました。

楽しい時間もあっという間に過ぎて行きました。最後に副学長と 2 人で写真を撮った時に“必ずベトナムにまた来る”と伝え、笑顔で“またおいで”と言われました。バスに乗り込んだ後も手を振って見送ってくれました。



現地学生さんとの集合写真

2. TBM - MINH PHAT Producing - Trading Co.,Ltd.

ホーチミン 2 日目に市の中心から少し離れたビンチャン区のプラスチック成型会社を視察しました。社長のディップ・ヴァン・ミンさん (Mr.Dip Van Minh) とロン副社長が出迎えてくれました。実物の製品などを使用してわかりやすい説明を受けた後、製作途中の製品を手にとり、各過程の製品を触らせていただきました。製品の中には、日本の企業から発注されたものも多く、その中には、大手菓子メーカーや機械メーカーの受注もありました。

この、TBM ミンファット プロデュースング トレーディング社は、1991 年にホーチミン市で、プラスチック成型の生産工場として、設立しました。現在は、食品から、化粧品、

衣料品のほか、建築用品や精密部品の製造を行っています。特徴として、ミン社長が、日本式の品質管理である「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」、「躰」の頭文字“S”をとった“5 S”と KAIZEN を取り入れた質の高い製品を生産していることや、成型機械の金型を自社でデザインや設計し、製造とメンテナンスを行っているところです。そのため、工場内には、気温を 25℃ に保つ部屋あり、10μm の精度が出せる NC 工作機械での作業が行われています。

3. Vinh Hạ Long クルーズ

首都ハノイから、バスに揺られて約 2 時間、1994 年にユネスコ世界自然遺産に登録された、ハロン湾に行きました。ハロン湾には、中国との戦で、竜の親子が現れ、勝利した後、竜が宝石を吐き出し、その宝石が、ハロン湾の美しい石灰岩の島々になったといわれています。島の中には、鍾乳洞があり、中は伝説をうなずけるほどの絶景が広がっていました。クルージング中に、果物や魚屋が船に乗り込んできたり、並走して、商売をしていました。

鍾乳洞見学の後、最後のベトナム料理を船内でいただきました。



鍾乳洞の写真

4. 国会議事堂見学

私は、今回に研修でこの国会議事堂見学が一番楽しみにしていました。なぜなら、ベトナムの国会議員に「ベトナム高速鉄道に日本の新幹線を使用してください」と伝えたかつ

たからです。そのチャンスをいただき、伝えることができた時、あまりの嬉しさに、うれし泣きをしてしまいました。その後、「私たちもそうしたい」と言っていただき、うれしく思いました。また、元国連大使の QUANG XUAN さんの娘さんは、2007 年ミスベトナムに選ばれた方でとても美しかったです。

懇談会の後、会議室の横にある、歴代国会議長の紹介や新国会議事堂、ベトナム独立に関する書物などの展示ルームを見学した後地下にある“タイロン城王宮跡”の遺構や遺物などを最新の液晶技術や映像技術を使用して、五つの王朝時代の遺構や遺物を展示していました。



国会議事堂 会議室内の写真

5. 感想

全国から集まった仲間とベトナムで過ごした一週間は、初めて、初めてが続き、本当に充実した研修でした。日本人の常識と価値観が、大きく異なり、新聞やテレビでは、決してわからない“ベトナム”を知ることができました。旅行と異なり、ベトナムの内側を支え、これから作って行く人、ベトナム国家の最前線に立って、より良い国づくりを行っている人、普段の生活や旅行では、接することのできない人々と出会い、話したこの研修は、私の自信になり、これからを大きく変えていくんだと思います。“また必ず、ベトナムに行きたい”そう思わせてくれる国でした。

団長:宮下校長先生の 10 年後の言葉。その、いつか来る、10 年後にまた、みんなで集まりたいです。 Hẹn gặp lại bạn !

海外研修に参加して

山梨県立韮崎工業高等学校
制御工学科 2年 生徒

今回の工業高校生を対象とした海外研修では、前回のアメリカとは全く違うアジア圏にある、ベトナム社会主義共和国に行きました。授業で使う教科書でしか見たことのない景色や、生活。未知なことがたくさんあり、私を惹きつけるものがあり今回の海外研修に参加したいという意思を強めました。

1. 大学見学

大学見学ではホーチミン市にある、Industrial University of Ho Chi Min City という産業大学に行きました。学生は数多く、学科数も多くベトナムでもトップクラスのエリート校を目指している施設の設備もとても素晴らしい学校でした。学校内の機械などは私の学校では見たことのないようなものや、本格的なものも多く素晴らしかったです。

2. 企業見学

最初に行ったホーチミン市での企業見学は TBM - MINH PHAT で、1991 年に設立され、主にプラスチックの製品を扱って、タッパーやコップ、トイレの部品や車など様々な製品を金型からすべて自社で行っているというベトナムの中小企業の中ではトップクラスの企業でした。有名なところでは日本の味の素やディズニースーのコップのデザインなども行っています。この会社では 5S という整理、整頓、清潔、清掃、躰という取り組みを行っており、週に一度チェックや年に 2 回反省会があるなど徹底して行っているそうです。私の学校でも同じように 7S というものがあり、上と同じでそれに加え節水節電があり、学校内でも活動に取り組んでいます。

3. 観光

ベトナムの気温は高くなかには体感温度 46 度という猛暑日も多く移動など大変でし

た。しかし現地の人々はそれにも負けず活気よく生活しており、すごいと思いました。中でもベトナム独特の味付けで食べるご飯は日本で食べるごはんとは全く違い、新しい発見ばかりでした。香辛料の風味が強く、薬物がよく使われていました。ホーチミンのサイゴン大聖堂では、私が今までみた教会の中でも一番素晴らしく、とても印象に残っています。行った時間帯はミサの途中で中に入れませんでした。いつかベトナムに行った時にはもう一度行ってみたいと思いました。ホーチミンさんが眠るホーチミン廟では素晴らしい建物に厳重に管理されているホーチミンさんの遺体が眠っており、とても美しい建造物でした。ハロン湾でのクルージングは前日に行うはずだったのですが豪雨で次の日になってしまいましたが、とても美しい景色や鍾乳洞はとても印象に残っています。



ベトナム料理

4. 感想

今回の海外研修では毎日が猛暑の中、とても大変でしたが、素晴らしい内容でした。全国から来た私を含めた20人の団員で1週間過ごせて心からよかったと思っています。同室者の方や仲良くしていただいた皆には感謝しています。それぞれが助け合ったり、中にはふざけあったりなど学年や性別関係なく和気あいあいとでき、とても心地よかったです。日本と同じアジアでも全く違う生活や風景は今まで生きてきた中でとても印象深いものになりました。今回の海外研修に参加できとてもよかったと思います。

ベトナム研修

長野県松本工業高等学校
電子工業科 2年 生徒

1. 大学見学

今回の研修では、Industrial University of Ho Chi Min City と Hanoi Industrial Vocational Collage の2つの大学に行きました。

ハノイの大学では実際に大学生と交流しました。とても歓迎してもらい素敵なダンスや歌を披露してもらいました。昼食を一緒に食べながら、コミュニケーションをとりました。日本のお土産を渡したり、日本伝統の遊び(竹とんぼ)をしたりして、交流を深めることが出来、とても楽しかったです。

私は、折り紙を持って行ったので鶴の折り方を教えながら一緒に折りました。竹とんぼは思ったより大反響でとても盛り上がりました。もっと交流する時間がほしいなと思いました。

大学内を見学もしました。印象に残っているのは、ホーチミンの大学の図書室です。とても広く、たくさんの方が利用していました。夏休みなのに学校に来ている人がとても多くて驚きました。女子大生も何人か見ました。女子大生の比率は全体で30%だそうで、少ないなと感じました。

実習室なども見せてもらいました。旋盤がたくさん置いてありましたが、どれもとても古く、使い続けるのは危ないと思いました。



大学生と記念撮影

2. 企業見学

企業も TBM - MINH PHAT と Vietnam CNC の2つを見学しました。

TBM - MINH PHAT はプラスチック工場で、少し前まで工場がとても汚かったらしいのですが、日本の5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）を取り入れたところ、作業が効率よく進み、ミスも減ったと聞きました。

この工場では、日本では誰でも見たことがある「e - ma」ののど飴のケースを作っていると知り、驚きました。実際それを作っているところは見られませんでした。小学校で使った算数ボックスの中に入っている時計などの製造工場を見ました。すごく懐かしいものが見られて、なんか嬉しかったです。

この工場で女性は200人中80人だそうでデザイン系が主だと教えていただきました。

CNC は携帯電話、自動車部品等の製造組立ての工場でした。工場見学は時間の関係上あまり出来なかったのが残念でした。ですが、いろんな話が聞けて良かったと思います。

見学中、スコールが来てものすごい音がしました。大声で喋っても聞こえないような中、集中して作業していてすごいと思いました。この工場は女性がとても少ないようですが、給料や待遇の差別はないそうで安心だなと思いました。

3. 観光

大学や企業のほかに統一会堂や郵便局、市場や国会議事堂、クチのトンネルやハロン湾の鍾乳洞などを観光しました。特に印象に残った場所は、中央郵便局とクチトンネルとハロン湾の鍾乳洞です。

郵便局は絵葉書やお土産が売っていて、しかも安くテンションがあがりました。日本に絵葉書を出したら、もう移動する時間だったのでもう少し時間がほしかったです。

クチトンネルとは、戦争の際に地下で暮らすため作られたトンネルや部屋です。大柄なアメリカ人が入れないように小柄なベトナム人に合わせて狭く作り、階段のすぐ下に落と

し穴を作るとかなどたくさんの工夫がしてあり、驚くとともにすごいなと思いました。少し中に入ってみましたが、ほんとに狭くてしゃがんだ状態で歩かなくてはいけなく、とても疲れましたが、貴重な体験ができ嬉しかったです。

ハロン湾クルーズの際、鍾乳洞を見にいきました。ライトアップされていてとてもきれいでした。自分の中で鍾乳洞がある場所は寒いと思っていたのですが、全然そんなことはなく寧ろ蒸し暑かったです。ハロン湾は台風の後だったので少し濁っていましたが、きれいでした。

あと、ベトナムで一番驚いたことは、交通手段でした。日本は車が主ですが、ベトナムはバイクで、道はバイクで埋め尽くされていました。しかも、びゅんびゅん進んで行って隣のバイクとの距離は20cmもなく、よく事故が起きないかとハラハラしました。日本ではありえない光景が見られました。しかし、徐々にですが、車が主になってきているようです。



ベトナム市内の様子

4. その他

ベトナムの食といえば「フォー」。「フォー」はとてもあっさりしていて私たちの口にも合い、すごく美味しかったです。ですが他の料理はあまり口に合わず大変でした。お腹を壊した人が半数以上いました。

ベトナム料理は出てくる量がとても多く全部食べきることはできませんでした。ベトナムはフランスの植民地だったことから、フラ

ンス料理がとてもおいしかったです。少しでもが他国の食文化に触れることができ、いい経験になりました。



フォー

5. 感想

このベトナム研修は全国各地の工業高校生 20 人が集まり参加しました。当然初対面で、最初はとても緊張しましたが、すぐにみんなと打ち解け、仲良くなることができました。学年とか男女とか関係なく話ことができました。いろんな地方の方言が聞け、いつの間にか方言が移ったりもしました。見知らぬ土地で一週間過ごすということは、とても不安ですが一緒にいったメンバーに恵まれ、とても楽しく研修することができました。いろいろハプニングが起き、大変なことも多々ありましたが、それも貴重な体験でした。今回研修に行った 20 人と共に学び過ごすことができ、本当に良かったです。同じ工業高校生ということもあり、友達というより仲間という感じでした。また、みんなで集まろうと話しましたが、また会える日が待ち遠しいです。

高校生で海外に行くということは当たり前ではなく、とても貴重な機会です。そんな機会を与えてくれた、全国工業高等学校長協会や学校の先生、両親にしっかり感謝したいです。

ベトナムでの一週間はいろんな体験ができ、日本では味わえない刺激をもらい、とても有意義なものになりました。すごいいっぱい疲れたけど、すごいいっぱい楽しかったです！！

20 人の愉快的な仲間達 in ベトナム

静岡県立藤枝北高等学校
総合学科 3年 生徒

1. 大学見学

「Ho chi min 大学」では、大学の副学長の先生が、大学紹介をしてくれました。大学スローガンの「効果的・発展・繋がり」は、とても良いスローガンだと思いました。教授とお話した部屋の机などの家具が、ほぼ全て日本製だと聞き、驚きました。ベトナムの発展のために日本に期待している所は、日本の知識だと言っていました。品質の良さや様々な技術は日本の誇りであると、改めて実感しました。



☆Ho chi min 大学☆

「Hanoi 短期大学」では、大学に到着した途端に、大学の生徒さん達が歓迎してくれました。とても嬉しかったです。大学の先生の話の中で、日本式の技能検定資格を取るための勉強に力を入れていると聞き、日本は注目されていることが分かりました。大学生との交流会では、生徒さん達が踊りや歌を歌ってくれました。歌が上手で、踊りの民族衣装も可愛かったです。ベトナム研修に来て、同年代のベトナム人と交流するのは、この時が初めてだったので、初めは緊張しました。大学見学や一緒に食事をするうちに、とても楽しくなりました。ベトナムの生徒さんは、みんなフレンドリーで明るかったので、楽しく交流できました。写真も、ベトナムの生徒さん

達から「一緒に撮ろう！」と声をかけてくれて嬉しかったです。日本から持って行ったお土産も、喜んでもらえました。最後に、みんなで竹とんぼをして遊び、とても盛り上がりました。現地大学生との交流は本当に楽しく、この研修1番の思い出です。



☆Hanoi 短期大学☆

2. 企業見学

TBN - Minh Phat (プラスチックの製造企業) の見学をしました。味覚糖の e - ma のど飴の容器も作っていて、日本に輸出していました。食品容器や化粧品容器など、私たちにとって身近な物がベトナムで、作られていることに驚きました。「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の 5S を実行している会社で、社内が非常に綺麗でした。

Vietnam CNC (車の工場) の見学をしました。この会社も、5S を積極的に取り入れているそうです。2007 年に建てられ、他の企業と比べ歴史の浅い、新しい会社でしたが態勢のしっかりとした工場でした。日本人も多く働いているので、社長さんも日本語で説明してくれて、分かりやすかったです。就職するうえで、事前の知識だけでなく、仕事をしながら学ぶことも大切と考えて、「OJT」を取り入れた会社でした。

3. 観光

ホーチミン市内観光では、統一会堂に行き

ました。ベトナム戦争は沢山の連絡機関から成り立っていた事が、部屋の多さから分かりました。

ベンタイン市場で買い物をしました。入口から、大勢の人でした。市場内に入った瞬間、店員さん達の強い視線を感じました。お客さんを逃がしたくないようで、腕をなかなか放してくれない店員さんもいて、恐怖感を覚えました。定価の何倍も高い値段を提示されるので、値段交渉をしましたがあまり下げはくれませんでした。

サイゴン大聖堂は、レンガ造りの建物でした。シンボルのような建物に圧倒されました。

中央郵便局は綺麗な建物で、突き当たりには、ホーチミン氏の肖像がありました。絵ハガキを出すと、ベトナムから日本に届くと聞き、海外でも送れることに驚きました。

サイゴン川で、Night cruising をしました。クルージングしながらの夕食は、料理をより一層美味しく感じさせてくれます。窓から見える景色もイルミネーションのようで、とても綺麗でした。建物の光が水面に反射して、キラキラ輝いていました。



☆Night cruising☆

クチのトンネルに行き、ベトナム戦争についてのお話を沢山聞きました。クチ村の人達は、アメリカ軍に対抗するために、色々な工夫をしていました。落とし穴もあり、昔ながらの物も受け継がれていたことに感動しました。今回は、トンネルの中を 50m ほど入りま

した。入った瞬間から、とても暑かったです。段々狭くなっていくトンネルの道を進むのは大変でした。途中が真っ暗になっていて、どちらの道に進めば良いか分からなくなった時には、とても焦りました。50mという短い距離で、短い時間だけでも疲れたのに、当時のクチ村の人たちはすごいと思いました。そして、戦争で苦しんでいた時も農作業は続けていて、娯楽の音楽も楽しんでいたことは、素晴らしいと思いました。

クチのトンネル見学後に、スコールがありました。突然の大雨で驚きました。スコールは、ベトナムでは度々あり、1日に何回も起こる時もあるそうです。

国会議事堂を訪問しましたが、建物の造りが立派で緊張しました。国会議員や元国連大使の方と面会しました。

国会議事堂の地下にある博物館を見学しました。遺跡の上に国会議事堂が建っているのです。発掘された物を博物館に残しているそうです。遺品のほかに、国会議事堂の模型もありました。模型には、建物のほかに小さい人なども良く出来ていて感心しました。この博物館は普段、現地の人も入ってはいけませんが、日本からの訪問ということで特別に見学させていただきました。本当に貴重な体験でした。

ハノイでは、台風3号の爪痕が街中に残っていて、沢山の街路樹が倒れていました。大きな木なども倒れていて、激しい台風を物語っていましたが、バイクは前日同様に沢山走っていました。

ハロン湾のクルーズは、とても楽しかったです。この地域の絶景は、世界自然遺産に指定されていて、本当に美しかったです。「鍾乳洞」に入り、ライトアップもされていたので、とても綺麗でした。洞窟に入ったのは初めてでしたが、幻想的な光景に心を奪われました。いつの日か、ベトナム行く機会があれば、また必ず訪れたいと感じました。

4. 感想

今回の研修は、私にとって初めての海外でした。それに加え、研修と一緒に参加する高校生も他県の子達だったので、研修当日まで不安や緊張でいっぱいでした。しかし、研修が始まると、不安より希望や楽しみの方が大きくなっていきました。また、地域独特の個性に満ち溢れた20人だったので、研修がより一層楽しいものになりました。日本国内でも県によって、習慣や方言の違いなどがあると知ることが出来、勉強になりました。他県から集まった初対面の仲間との研修は、とても良い経験になりました。

ベトナムでの一番の思い出は、現地大学生との交流です。明るく優しい大学生達で、とても楽しかったです。日本との文化の違いに触れながら、身振り手振りでのコミュニケーションをして、楽しく交流出来ました。国や言葉は違っても、気持ちは繋がる事が出来ると学びました。

私にとって今回の研修は、全てが新しい挑戦でした。海外に目を向け、異国文化に触れることで、今まで感じた事もないような感情や発見ばかりの毎日でした。日本では出来ないような沢山の経験も出来たので良かったです。今回の研修で学んだことを生かし、何事にも、勇気や希望を忘れずに、生活していきたいです。

この研修を勧めてくれた学校の先生、私の背中を押してくれた両親、研修の先生方、研修で出会った現地の人々、一緒に過ごした研修の仲間達、関わった全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

今回の研修によって、ベトナムでは沢山の素敵な出会いに恵まれました。そして、日本全国20人の大好きな仲間に出会うことも出来ました。この海外研修に参加して本当に良かったと、心から感じます。これから先もずっと、この出会いを大切にしていきたいと思っています。

海外研修報告書

愛知県立名南工業高等学校
機械科 2年 生徒

1. 大学見学

ホーチミンではホーチミン産業大学の見学をしました。

今年で60周年を迎える大学で、卒業後は教授やエンジニア、IT系企業への就職がメインだそうで、教訓として品質、効果的、発展、コネクションを掲げていて、将来的には国際交流の多い学校にしようとしているそうです。校内にはたくさんのコンピュータや旋盤などがあり、普段私たちが通う工業高校と何ら変わりなく、同じようなことを学んでいました。



大学内の様子

2. 企業見学

企業見学としては、TBM - MINH PHAT の見学をしました。

化粧品や食品のプラスチック容器、医療用品などを製造している企業で、日本やアメリカへの輸出用が多いそうです。

工場内は生産を行う場所と、バリを取り除くクリーンルームとに分かれており、よりよい製品をつくるための工夫がされていました。また、5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）のピラミッド図がいたるところに掲示されており、社員への意識づけにも力を入れているのだなという印象を受けました。

3. ホーチミン市内観光

ホーチミン市内の様子はとにかくバイクが多く、クラクションがひっきりなしに鳴っていて、まだまだ交通整備がしっかりとされていない様子でしたが、夜になるとストリートダンサーが音楽を流しながらパフォーマンスをしたり、セグウェイに乗って遊ぶ人々がいったりと、自由に活気溢れる街だと思いました。

市場では、日本ではあまり見られない変わったフルーツや香草などが並んでいる一方で、日本でも売られているメーカーのものが破格で売られており、驚きました。

またベトナムではワニが多く捕れるようで、ワニ皮の財布がたくさん売られていました。初めての値切りに挑戦し、かなり安く買うことが出来たのでとても嬉しかったです。



ホーチミンの街並み

4. 現地大学生との交流

私にとってこの交流はこれまで生きてきた中で最も大きな経験値を得ることのできた交流だったと思います。お互い何も知らず、言葉も通じない相手とコミュニケーションをとらなくてはならなかったからです。普段の生活のなかでそのようなことはそうそうないことです。

最初は言葉の壁に躓き、ぎこちない会話をしていましたが、ムリに言葉を理解しようとするのではなく、身振り手振りや表情から相手の気持ちを理解しようとしたほうがよいのではないかと気づいてからは楽しくコミュニケーションをとることが出来るようになり、

別れ際には固い握手を交わしたりハグをしたりするほど仲良くなることができました。



現地大学生の皆さんと

5. 感想

私はこの海外研修で人として大きく成長させていただいたと思います。初めて日本を飛び出して少し世界を感じる事が出来たときにこれまで見てきたものはとてもスケールの小さなものだったのだなと、もっと世界に目を向けなければならないなと思うようになりました。また日本全国、そしてベトナムでも新しい仲間ができてとても嬉しかったです。このような出会いを大切に、将来は世界の人々と関わって仕事をしたいと思います。

今回、私がこの研修に参加するにあたって協力して下さった方々、ほんとうにありがとうございました。

ベトナム海外研修

岐阜県立岐阜工業高等学校
建設工学科 3年 生徒

1. 大学見学

ベトナムの大学と言われても全くイメージできませんでした。日本の大学に比べて学校の大きさは小さかったけど教室や実習室の機材、図書室など日本の学校とほとんど変わりませんでした。学生との交流では全然何言ってるかわからなかったけど、すごく楽しい時間でした。今回の研修で一番楽しかったです。竹トンボであんなに喜んでくれると思わなか

ったので喜んでくれて良かったです。もっと交流したかったです。



Hanoi Industrial Vocational College にて

2. 企業見学

機械の工場が多かったから詳しい事は分らなかったけど日本で販売されている商品がベトナムで造られているのに驚きました。日本の会社と同じように設計から商品の製造までやっていて、ベトナムの技術の高さを知りました。

3. 観光

私のベトナムのイメージは茶色いイメージでした。実際行ってみたら全然違って驚きました。観光して一番印象的だったのはホー・チ・ミン廟です。本物のホー・チ・ミンさんの遺体が保存されていて衝撃的でした。死んでいるのに眠っているように見えて、不思議な気持ちになりました。警備が凄く厳しかったのでそれだけホー・チ・ミンさんが国民に愛されていたが分かりました。

クチトンネルでは実際にトンネルに入ったり、数々の工夫された罫を見てベトナム戦争について学びました。ベトナム戦争についてほとんど知らなかったのが、新しく多くの事を学びました。一番賢いな~と思ったのは地下のトンネルがとても狭くなっているのはベトナム人は小柄だから動きやすいけどアメリカ人は大きいから狭くて動きづらいうようにしていたことでした。あんな狭いトンネルで落とし穴があっても絶対気付けないから怖いなと思いました。自分達の特徴を生かした作戦

でアメリカに勝った事を始めて知ってとても印象に残っています。



ホーチミンでのクルージングディナー

発展が著しいと言われるベトナムが変わっていている姿を実際に見る事ができたのはとてもいい経験でした。いたるところで日本の大手土木企業が工事をしている現場や日本の企業が造った道路や橋が多く見られて、日本とベトナムの技術協力が活発に行われている事や施工技術と高さがよくわかりました。しかし、少し都市から離れるとまだ整備されていない汚いところがありました。日本にいれば当たり前のように平らで、アスファルトで、高速道路があって、川の周りはいきれいに整備されていて、それが当たり前だから何も思わないけど日本には素晴らしい技術がたくさんあるからそれが当たり前だけで、もっとこの技術を必要としている人がたくさんいるんだろうなと感じました。だから私が日本の技術を身に付けてより広い世界へ出ていきたいと思いました。



街中のバイク

今回この研修に参加してベトナムのイメー

ジが大きく変わりました。言葉が通じない事や水などの衛生面は不便だったけどこの国に住みたいと思うぐらい魅力的な国でした。いつかこの国へ帰ってきて働けたらいいなと思いました。

日本とは全く違う文化や生活だったけどすごく楽しかったー!!! また絶対ベトナムへ行きたいです。次はバイクの免許を取っていきたいです。ベトナム最高!!! 大好き!!!

ベトナム海外研修に参加して

滋賀県立彦根工業高等学校
建設科 1年 生徒

1. 大学見学・大学生との交流

ベトナムの大学は、図書館が充実していたり、工業の機械が置いていたり、「学ぶ場所」としてしっかり機能しているように感じました。また、日本では高校卒業後に大学に入学するのに対して、ベトナムでは短大や専門学校卒業後に大学に進学するのも普通だと知りました。さらに、大学卒業後日本では大学院に進むことも多いのですが、ベトナムでは大学卒業後はすぐに就職できるサービス業に働く人が多いそうです。

大学生との交流では、皆さんとてもフレンドリーに接してくださったので話しやすかったです。言葉が通じないこともありましたが、なんとなく理解することができました。また、日本の協会の方が用意してくださった竹とんぼを、とても喜んでもらうことができたのでよかったです。



大学生との交流

2. プラスチック製品製造会社

この会社は創業 1991 年で、元々は小さな会社でしたが、今では 180 人～230 人が働くベトナムの中小企業では 1 番と、大きく成長したそうです。

この会社では、5 S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）という活動を行うことで、業績の向上に努め、実際に 5 S を行うことで業績を伸ばすことができ、また、会社全体がきれいになったという結果も出たそうです。そして、5 S の他にも毎週各場所を点検してランクをつけたり、半年に 1 回反省会を行ったりしているそうです。この小さな積み重ねが、会社を大きくさせたのではないかと思います。

また、プラスチック製品を製造していて、日本でもよく使うタッパーや、スプーン、フォーク、CD ケースなどのおなじみの商品がたくさんありました。その中には、東京ディズニーランドで売られている商品もあり、ベトナムで作られた商品の品質の高さを推し量ることができました。そのほかにも、船や車の部品、医療用製品も作られているそうです。

3. 観光・ホーチミン市内交通事情

初めてベトナムに来て一番驚いたことは、バイクの多さです。バイク：乗用車では 7：3 くらいの割合で走っていて日本との違いにとっても驚きました。お店の前にもたくさんバイクが止まっていて、車はどこに止めているのかと思うくらいでした。ちなみに、バイクの 8 割が日本のメーカーの本田のバイクだそうです。日本に比べて信号の数が少なく、T 字路くらいなら信号はなく、事故が起こりそうで見ていてとても怖かったです。また、信号がないので横断歩道もありますが、道を渡るときバイクや車が来ないのを待っていたらきりがないので、バイクや車が来ていても道を渡ります。そうすれば、バイクや車が人をよけてくれるので、ひかれる心配なく渡ることができます。しかし、バイクや車が来ているからといって走って道を渡ってしまうと、

バイクや車がよけられなくてひかれてしまいます。ベトナム風の道の渡り方には、とても驚かされました。実際に渡りましたが、目の前をバイクや車が通るので怖かったです。

また、ホーチミンでは高速道路がありませんでしたが、首都のハノイでは高速道路があり、道もホーチミンに比べるとハノイはきれいに整備されていました。



信号待ちするバイク

4. その他・クチトンネル

ここでは、ベトナム戦争の様子がそのまま残されていて、戦争をしていた当時の状況がよくわかりました。そこには、とてもクオリアティーの高い落とし穴や、地下通路がありました。地下通路では、大人の人が一人通れるだけのスペースでとても狭く暑かったです。どの仕掛けも工夫が施されていて昔の人の知恵はどの国でもすごいなと、驚かされました。



クチトンネルの落とし穴

5. 感想

今回のベトナムへの海外研修を通してたくさんの方のことを学び、多くの貴重な体験をすることができました。建設科で学ぶ私が一番印象に残っている建築物は、ベトナムの国会議事堂です。中に入ると中央が吹き抜けになっていて、外から見たよりも高く見え、とても開放感がありました。また、ベトナムに対するイメージも変わり、ベトナムと日本のそれぞれの国のいいところも知ることができました。

このベトナムの海外研修期間中、自分の生まれ育った日本の国を見つめ直していたのだと思います。バスの乗り心地から交通事情、現地の方々の表情やしぐさ。そして衣食住。日本とベトナムは飛行機で6時間の距離があり遠く離れています。

しかし、ベトナムの街中には日本製のバイクが走り回り、英語よりも日本語での会話のほうが意思疎通できる。ベトナムで製造されたものが日本に輸入され、私たちは **made in Vietnam** を意識することなく使っている。ベトナムと日本との距離は、時間や空間の隔たりよりもはるかに近いことを実感しました。ベトナムと日本が意外に似ていて近くなっていること、これがグローバリズムというものではないかと一人で納得した今回の海外研修でした。この感覚を大切にしなければならないと考えています。

そして、このベトナムの海外研修を通して出会うことのできた全国の工業高校生。彼ら、彼女達から得たそれぞれの工業高校の話はとても貴重で、私は自分が狭い世界に住んでいることを実感しました。何よりまわりのみんなの学ぶ姿や楽しむことへの強烈なエネルギーを感じ、私のこれからの高校生活に生かしていきたいと思います。

全国の工業高校生と出会い、友達になれ、毎日が楽しくあつという間の8日間でした。またこのような海外研修に参加できる機会があれば参加したいです。

ベトナムでの海外研修

京都市立伏見工業高等学校
システム工学科 2年 生徒

1. 大学見学と現地大学生との交流

ベトナムの大学を見学して、校舎の外見も内装もきれいで、図書室や授業で使う作業場もちゃんと設備が充実していて、すごいなと思いました。それに、工業科に通っている女子生徒が思っていた数より多かったのが、びっくりしました。

ハノイの大学でやった交流会は、とても楽しかったです。英語が伝わらなくて、会話が難しかったけど、とてもフレンドリーで話しやすかったです。交流会の最後に、みんなで竹とんぼをとばして遊んだ時間が一番楽しかったです。ベトナムの大学生さんと、仲良くなることができうれしかったです。

2. 企業見学

企業見学で一番印象に残っているのは **TBM** さんです。1991年に設立され、化粧品や食品などの容器を作っている企業です。e-maの容器や小学校の算数で使う時計など、見せてもらった商品は日本で見たことがある物が多くて驚きました。

TBM さんは、容器の型を自分の会社で作っているそうで、その技術で中小企業の中ではトップにいると聞きました。その話を聞いて、カッコいいなと思いました。

この企業では5sを行っていて、倉庫の中はとってもきれいに整理整頓されていました。作業場もやっぱりきれいで、すごいなと思いました。私も学校で実践してみたいと思います。

3. ベトナム観光

ホーチミンの観光で一番楽しかったのは、市場です。私たちが行った市場はホーチミンで一番大きいところで、最初外から見たときは大きく感じなかったのに中に入ってみると、いくつもの店が立ち並んでいて迷子になりそうなほど広がりました。店員さんたちはみんな

な日本語で話しかけてきたので、とても驚きました。日本では経験することができないと思えるほど、楽しかったです。

ホーチミンの観光で、クチトンネルも楽しかったです。実際にクチトンネルの中に入ってみると、とても狭くて暗いところでした。ベトナム戦争中は、このクチトンネルをうまく活用してアメリカ軍に勝ったそうです。ベトナム戦争の歴史に触れることができよかったです。

ハノイは、ベトナムの都市で南に位置しています。ハノイの観光で、ベトナム革命を指導したホー・チ・ミンさんのお墓を見学に行きました。ホー・チ・ミンさんのお墓は、国会議事堂よりも警備が厳重で、ベトナムの人たちに愛されて大切にされているんだなと思いました。

ハノイでは、国会議事堂にも訪問しました。とてもきれいな建物でした。国会外交委員会の副会長さんとも、お話することができて、うれしかったです。

国会議事堂の地下にある博物館も見学させて頂きました。昔ベトナムにあった王朝の遺跡が展示されていました。きれいに展示されていて、見ていて飽きなかったし、とても楽しかったです。この博物館はまだ一般公開をしていないらしく、それを聞いて光栄なことだなと思いました。最高のおもてなしに感謝しました。

4. ベトナムの日常

ベトナムに行って、やっぱり日本の文化との違いを感じました。まず驚いたのは、バイクの多さです。ベトナムでは二人乗りのバイクに乗るのが、主流のようで初めて見たときは、暴走族のように見えました。お金も紙幣だけで、小銭がありません。ガイドさんに聞いたところ、学校の通う年数も違うそうで、ベトナムでは小学校は5年間、中学校は4年間、高校は3年間通うんだそうです。

まだまだ、たくさん文化の違いを感じることがありました。こうして、外国の文化に触

れることができよかったです。

5. 感想

今回の海外研修に参加して、友達もたくさん作ることができたし、ベトナムの工業の技術や、文化、歴史などを学ぶことができたので、充実した海外研修になったと、思っています。一生に一度の貴重な体験をすることができました。今回の研修で得られたことを、今後の学校生活にも将来の仕事にも活かしていきたいです。

とても楽しかったです。一生の思い出にします。本当にありがとうございました。

一生心に残る思い出

大阪市立東淀工業高等学校
電気工学科 2年 生徒

1. 大学見学

夏休み中にも関わらず現地の大学生の方々に大歓迎で迎えて頂きました。文化交流では、民族衣装を着てベトナム伝統舞踊や歌などを披露していただき、ベトナムの文化に触れることが出来ました。又、色々な料理やプレゼントでもてなしてもらい現地大学生と楽しい時間を過ごせました。交流はジェスチャーや簡単な英単語、そして、スマートフォンの日本語変換などを使いました。言葉の不自由さを感じずコミュニケーションをとることができ楽しかったです。現地の人達との交流の時間がもう少しあればもっと楽しめたかなと思います。



現地大学生と

2. 企業見学

大きな機械が沢山ありそれが常に動いていました。作っていたのはe-maのど飴や、味の素・グリコの製品のケース、東京ディズニーランドのコップにいたってはデザインからすべての工程を行っていました。これは実際に東京ディズニーランドに営業に行きデザインがよかったので採用されたとのことでした。原材料のプラスチックは日本から輸入し、製品を作ってそれを日本に輸出していました。日本で全て作れば輸送に掛かるお金も安く済むのにそれを上回るぐらい人件費が安いのだと実感しました。日本に関する製品がとて多くて驚きました。

3. ハロン湾（観光）

世界遺産のハロン湾を観光する事をとても楽しみにしていましたが、あいにく台風の影響もあり、当日は小雨が降り海は濁っていました。日本で見た情報誌に載っていた晴れたハロン湾を期待していたので少しがっかりしました。ですが、独特の形状をした島々の風景を見たり、船上マーケットで買い物をしたりと、良い経験ができました。途中3回ほど他の船とぶつかり揺れてビックリしましたが、ハロン湾では、よくあるとのことでした。日本ではありえないことと思いました。



ゴージャス

4. 食事（その他）

研修旅行中での食事は、機内食から始まり、ベトナム料理、海鮮料理、中華料理、船上では、ハロン湾を見ながらのランチやベトナム

の伝統舞踊のダンス、演奏を見ながらのディナーと毎回違うレストランに案内して頂き、ベトナムの雰囲気を楽しめることが出来ました。パクチーや香草を使った料理はその時々であり、なじめない所も多少ありましたが、おいしい料理も食べきれないほど沢山の量が出て、皆と分け合っても毎度毎度余るくらいでした。研修メンバーや先生方との食事をしながらのおしゃべりは、本当に楽しく、特に先生のお話は色々な経験談などを聞くことが出来、勉強になりました。

5. 感謝（感想）

1週間の海外研修で色々な事を学ぶことが出来ました。又、日本全国から集まった研修メンバーの皆さんとの交流がとても楽しかったです。北海道から沖縄までの各地の方言が飛び交って皆で、理解しあった事は、良い思い出になりました。今回研修を通して、改めて日本のすばらしさを痛感しました。それに気づかせて頂いた全国工業高校学校長協会の方々、学校の先生、家族、応援して下さいました。全ての皆さんに感謝しています。本当にありがとうございました。



お土産屋さんで

僕らの旅

広島県立福山工業高等学校
電子機械科 2年 生徒

1. Hanoi Industrial Vocational College

現地の学生と交流会をしました。海外の学生さんたちと交流するのは初めてで、最初

はとても緊張しました。ですが、学生さんたちが民族ダンスや歌を披露してくださり、緊張がほぐれました。

学校見学では、自動車の整備場があったり、中々広い敷地を有する学校でした。

昼食では、両隣に学生さんがいて緊張したけど食べ方を教えてくれました。言葉は伝わらなかったけど、ジェスチャーなどをしてコミュニケーションを図りました。

海外の学生と交流したのはとても楽しく有意義な時間であり、コミュニケーションをとることの大切さを学びました。



学生さんたちとの全体写真

2. TBM - MINN PHAT

この会社では、プラスチックの製品を製作していました。日本向けの商品もあり、算数セットの時計やe - ma のど飴の容器、タッパーなど日常で使われているものもこの会社で作られていました。

工場では、日本から学んだ5 S活動を実践していました。なので、工場内は綺麗に整理整頓がしっかりなさせていました。また、5 S活動をすることによって前と比べて会社内の雰囲気もよくなり、仕事効率が上がったそうです。会社視察をして、日本の影響をうけていると感じました。日本向けの商品や日本から学んだ5 S活動など…。私はその外国から学ぶ姿勢を学ばせてもらいました。いいものを作るにはいい技術を。

3. ハロン湾

世界遺産ハロン湾に行きました！遠くから

の眺めも素晴らしく流石の一言でした。

船上クルーズもしました。遠くからの眺めも良かったけど船上から見る景色も良かったです。特に岩や島に近づいた時の臨場感がすごかったです。

鍾乳洞にも入りました。鍾乳洞は規模が大きくなかなか広かった。また、岩や壁がライトアップされており、より神秘的であった。

その後は船上ランチを楽しみました。

シーフードのベトナム料理で新鮮な食材を使用していて、新鮮でとても美味しかったです。

感想は世界遺産のハロン湾は壮大で美しく、鍾乳洞はほんと神秘的な場所でした。見られて本当に良かったです。



ハロン湾での集合写真

4. 感想

今回の海外研修では、私が体験したことはどれも初めてのことだった。初めての海外・交流・視察、見学。どれをとっても内容の濃い体験となりました。

自分が今回学んだことはコミュニケーション能力の大切さと、積極性の大切さです。今回の研修で交流をしましたが、意外と下手な英語でも分かってくれたり、ジェスチャーで分かってくれました。外国だから、伝わらないからなにもしないよりは下手でもいいから喋ればいいと思いました。

また、現代の子どもはシャイ過ぎると思いました。ベトナムの学生はとても積極的に話かけてくれました。私はとても嬉しかです。なので、今後の学校生活で私も積極的にコミ

コミュニケーションをとり、クラス代表・生徒会活動・学校行事・ボランティア活動など積極的に参加し率先して全校生徒を引っ張っていきます。

海外研修に参加して

松山聖陵高等学校
自動車工学科 2年 生徒

1. 大学見学

7月25日 Industrial University of Ho Chi Min City (ホーチミン市工業大学) を訪問しました。大学は市内から少し離れたところにあります。1956年開校し今年で創立60周年です。工業科の機械は日本製が多く、日本が大学の生徒たちのために援助したそうです。生徒数は5000人で女子生徒の割合が30%です。

また、他の国の生徒もいて主にラオスやカンボジアからの生徒が多いです。多くの国から生徒が集まっており、国際的な大学を目指しているそうです。ベトナムの高校生は就職をせずに大学に進学する人が多いです。その理由は大学を卒業したほうが就職の幅が広がるからです。工業科を卒業した生徒は主に地元の機械関係の製造会社に就職したり、日系企業に就職しています。日系企業も多く進出しており、地元の企業に比べ、設備もよく、給料も多いそうです。日系企業側からすると日本で製品を作るよりかは海外で作った方がコストも安く人件費も安いので東南アジアに進出しています。



INDUSTRIAL UNIVERSITY OF HO CHI MINH CITY

2. 企業見学

7月25日に TBM - MINH PHAT を見学しました。この企業は日本製の品質と同じように、ベトナムで同じ製品を生産することを目標にしています。最新機械・設備への投資、確かな品質管理、若く情熱を持った従業員と共に、業界のリーディングカンパニーを目指している会社でした。中小企業の中でもトップレベルの技術を持っていて様々なプラスチック製品を生産していて日本、フランス、アメリカ、オーストラリア、ベルギー、オランダ、台湾に輸出をしているそうです。例えばどんな製品を生産しているかという、私たちが普段日本で目にしている、のど飴のプラスチック製のケースや、プラスチック製のスプーン、医療で使うプラスチック製品などを生産していました。日本で私たちが普段目にしている物がベトナムの工場で生産されているのを見て、日本から遠く離れた国で生産している物が私たちの生活の役に立っていることに感動しました。

7月27日に vietnam CNC という企業を見学しました。ここでは携帯電話の部品や自動車部品等の製造組立を行っていました。この会社の社長さんは元々日系会社に勤めていましたが、自分の会社を立ち上げたいという夢があって、日系会社を退職して自分の会社を立ち上げたそうです。しかし、設立当初は自社の商品がなかなか売れなかったそうです。しかし、諦めず少しずつ売上を伸ばしていき今では多くの会社から注文がくるようになったそうです。私はこの会社の社長さんは大変な努力していると思いました。なぜなら、自分の夢を実現させるために勤めていた会社を退職して、自分の会社を立ち上げたからです。私の将来の夢は自動車整備士になることです。この会社の社長さんを見習って、これから先どんな困難が来ても諦めず頑張っていきたいと思いました。

3 観光

7月27日に「国会議事堂」を見学しました。

ベトナムの国会議事堂は2年前に改築をしました。国会議事堂の前にはベトナムの初代首相（ベトナムの父）のホー・チ・ミン氏のお墓がありました。後ろにはタンロン遺跡があり、この遺跡は1010年から1804年まで栄えたベトナム諸王朝の建物があり2010年に世界遺産に登録されました。また「タンロン」はハノイ（ベトナムの首都）の旧称です。



国会議事堂

国会議事堂では国会外交委員会副会長Mr. Hai Ha氏と面会をしました。面会ではこれからのベトナムの発展についてお話を聞きました。ベトナムは他の国から援助をうけているそうです。その中に日本が含まれており、今、日本と協力してホーチミン市に地下鉄を作っているそうです。

また、国会議事堂の地下には博物館があり古代の遺物がありました。何故地下に博物館があるかという、国会議事堂を改築するとき地下から遺跡が発見されて、発掘された遺物を国会議事堂の下に保管するために博物館ができました。博物館を見学してベトナムの歴史に触れることができました。

7月26日に「クチトンネル」を見学しました。クチトンネルは南ベトナム民族解放戦線の拠点でした。ここでの抵抗がベトナムに勝利をもたらした要因の一つだと言われています。このトンネルは何の変哲もない雑木林の下に掘られていて蟻の巣のようにはりめぐらされ全長は250kmにもなります。またこのトンネルの周りには多くの落とし穴があり、中には兵士一人がやっと入れる隠れ穴もあり

ました。ベトナム戦争中、村民たちはこのトンネルの中に潜みながら、生活を続けていました。当時、クチには学校や病院、市場があり、弾丸、地雷などの武器などを生産していました。食料も自給自足で村一丸となって生活しながら戦っていたことがうかがえました。このトンネルを見学して感じたことは、アメリカという、ベトナムより戦力が上の相手でも自分たちの村、そして国を守るために戦った人々の勇敢さが伝わってきました。



4. その他（交通や食べ物について）

ホーチミン市では道路を走っている乗り物のおよそ8割がバイク、2割が自動車になっています。バイクのスピードは30キロ程度でした。また、ベトナムのバイクのほとんどはホンダ、ヤマハ、スズキといった日本企業のものが占めていました。朝の通勤ラッシュではスピードが遅いためか、渋滞が多かったです。一方でハノイではバイクがあまり走っていない代わりに自動車の方が多く走っていました。ベトナムには日本製の車やバイクが多く走っていましたが、それでも日本に比べると、ベトナムは自動車の普及率は少なく感じました。自動車普及率と道路整備が向上すれば、ベトナムの経済も、より発展するのではないかと思いました。また、ホーチミン市に地下鉄も作っているのも更なる発展が望めると感じました。

今回の研修でベトナム料理をたくさん食べることができました。生春巻き・揚げ春巻き・鯉の煮つけ・パイナップルごはん・フォー・海老の蒸し焼き・カニの蒸し焼き等、どれも

日本で食べたことのないものを食べることができました。

ベトナムの多くの料理にパクチーが使われているなど感じました。消化を助け食中毒や二日酔いの予防に効果があるといわれています。パクチーは独特の香りと苦味がしました。好きな人には癖になる香りだといわれていますが、苦手な人には耐えがたい香りだと思いました。参加した生徒の中にパクチーが好きになった人がいて、パクパク食べていたのでとても驚きました。

日本と同じ「お米の国」であるベトナムは生産量・消費量は世界第5位、輸出量については世界第2位のお米大国です。お米は白いご飯としておかずと一緒に食べられるほか、フォーの麺の材料にも使われているそうです。ベトナムの人々の毎日の食生活にお米は欠かせないものだと感じました。日本のお米とは違いベトナム米は粘り気が少なくパラリと軽い食感がしました。

様々な種類のフォーも食べることができました。ベトナム料理を代表する米粉の麺で、見た目は日本でいう細いきしめんのような形をしているので、一見日本のうどんのように見えます。日本のうどんは鯉節やいりこなどのだしでスープを作りますが、フォーは鶏の骨や牛の骨でだしをとった透明感のあるあっさりとしたスープでした。

5. 感想

今回の海外研修では私はとても多くの体験をすることができました。一つ目は日本とは大きく違う気候です。日本の気候のほとんどが温帯であるのに対してベトナムは高温多湿で6月から9月の間の平均降水量は300mmと多く日本の梅雨より多いです。研修中に雨が降った日がありその様子をバスの中から見ていると日本より強い雨が降っていました。また、とても湿度が高く蒸し暑かったのが印象に残っています。二つ目は食べ物で、多くのベトナム料理を食べることができました。日本では見たこともなく食べたこともない料理

が出てきたときは、とまどったこともありましたが、食べてみれば意外とおいしい物もありました。三つめはベトナムの歴史です。私は今回の研修でとても印象が強かったのがクチトンネルです。クチの人々は自分たちの村、国を守るためアメリカと戦いそして勝利しました。私は戦力が各上の相手でもみんな協力して恐れず立ち向かった勇敢さがとても印象的でした。自分もこの先いろんな困難が起きて恐れずあきらめず時にはみんなの力を借りて乗り越えて行きたいです。今回の海外研修は私にとってとてもいい体験となりました。このような機会を与えてくださった方々に感謝しております。ありがとうございました。

ベトナムにアモーレ！

鹿児島県立出水工業高校
機械電気科 2年 生徒

1. ハノイ工業職業訓練短期大学にて

ハノイの短期大学では、現地の大学生と交流をしました。現地の人々はベトナムの伝統的な踊りを披露してくださいました。音楽は現代的でしたが、踊りは民族的だったようでとても不思議な感じがしました。カルチャーショックでした。

私たちは、日本のお菓子や道具をプレゼントしました。とても喜んでくれる人もいましたが、中でも竹とんぼが一番嬉しいようでした。

ハノイ短期大学では、大学の設備や機械などを見ることができました。私の学校よりも多くの旋盤やフライス盤がありました。

実際に交流することができて、貴重な経験となりました。現地の学生は日本人よりもとても元気で活動的な印象を受けました。髪型は流行っているのか、皆、ツーブロックでした。

2. That's Vietnam 観光！

ベトナムでの料理は、日本にはないような

めずらしい料理が多くあり、正直口に合わないような料理もありました。しかし、フランス料理はとてもおいしく、また、フォーは日本に近い味で美味しかったです。ドリアンやドラゴンフルーツなどのあまり馴染みのない食材もありました。



ベトナムでの最終日に、ハノイの少し北に位置しているハロン湾へ行きました。ハロン湾は、リゾート地で世界遺産になっており、ベトナム随一の観光地となっています。そのため、たくさんの観光客がいました。そこで、クルーズ船に乗り、ハロン湾の観光をしました。ハロン湾は、緑色の海をしており、石灰石で囲まれていました。その景色はとても綺麗でした。また、鍾乳洞も存在していて、ライトアップされていました。暗闇の中の光景はとても印象的でした。

クルーズの途中、ハロン湾の船上で昼食をとりました。海鮮料理がでて、なかでも湯がかれたエビが特においしかったです。

ホーチミン廟では、本物のホーチミンさんの死体をみました。遺体は、きれいに残っており、眠っているだけのようにも見えました。ホーチミンさんは南ベトナムの初代大統領であり、ベトナム戦争で勝利を導いたため、今でも尊敬されているそうです。

また、ハノイでは、ベトナムの国会議事堂に入りました。そこでベトナムの外務副大臣に会いました。娘さんがミスベトナムだそうです。如何にも偉い人というオーラを漂わせていました。ベトナム人でも入れないような国会議事堂の地下に入ることもできました。

そこにはベトナムの歴史的な物が飾られていました。その中には、壺や馬の骨などベトナムの文化財が展示されており、中国文化の影響を受けているものも多かったです。鳳凰や龍の頭などが展示されていました。

また、この研修では他に、クチトンネルにも行くことができました。クチトンネルとは、アメリカとの戦争の時使われたトンネルであり、森の地中にすごく複雑につながっていました。ベトナム戦争の資料館には、当時の拳銃や地雷、不発弾などが飾られておりました。クチトンネルには、戦車があり、また観光客用に試し打ちの銃声になり響いていました。

クチトンネルの中はとても狭く、自分の大きさでは窮屈すぎてとても進めそうにありませんでした。その狭さから、当時のベトナム人たちも大変な中、戦ったのだと思いました。



3 企業訪問 in Vietnam

今回、化粧品会社とプラスチックの会社を訪問することができました。主に、韓国や中国、日本の企業の下請けをしているそうです。製品を作っているところやコンピュータで操作しているところを見学しました。日本の企業と比べ、衛生面で不安を感じる事が多々あり、使用している機械も中古を使っているようでした。ベトナムで働くには、自分には勇気が必要だと感じました。現地の言葉を覚えたり、技術を身につけたり、ベトナムで働くには乗り越えるべき点が多々あると思いま

す。しかし、商品を製造する際の効率化、商品や道具の整理整頓、品質の良さには勉強になることが多々ありました。

4. 今回の研修に参加して

まず今回の研修は貴重な経験になりました。参加させていただきありがとうございました。今回はベトナムでの研修でしたが、海外へ行くのは初めてだったのでとても緊張しました。

今回の研修を通して、日本の豊かさを感じました。自分で受けたい教育を選ぶことができ、職種も食べたいものを自分で選択することができます。ベトナムには腕がなく物乞いをしている人がいました。全体的に発展途上国という印象を受けました。早く経済成長をとげてそういう貧しい人々がいなくなればいいと思います。



また、市場や観光名所では、扇子や牛の置物などを売りにくる人たちにも圧倒されました。日本ではなかなか見ない光景にびっくりしました。日本人目当てに金額を釣り上げていると聞いたので、買いませんでしたが、実際に高額な値で売っているようでした。

また、ベトナムの企業は日本の企業を参考にして作った会社が多く、日本との違いはあまり感じませんでした。

私は、海外へ行ったことが将来のためになったと思います。日本の技術を世界に伝え、貧しい国の人々を少しでも豊かになりたいという目標ができました。

アモーレ！ベトナム！

海外研修の追憶

宮崎県立宮崎工業高等学校
電子情報科 3年 生徒

1. ホーチミン市

ベトナム到着後、私たちはホーチミン市に滞在しました。ホーチミン市はベトナム国内で最大の市であるとききました。私は首都であるハノイが一番かと思い、驚きました。

私がベトナムに行って、まず驚いたことはバイクの交通量です。街中の道路や、駐車場、いたるところにバイクがあり、驚きを隠せませんでした。特に、渋滞の時の光景は壮観でした。ベトナムでは現在、車の購入時に消費税が200%かかるそうです。富裕層にしか手が出せない状況なので、いずれは一般家庭にも普及してほしいと思いました。

ホーチミン市では、まず市内観光を行いました。サイゴン大聖堂、中央郵便局、統一会堂等といった名所を回りました。

サイゴン大聖堂では、中に入ることができないため、聖堂を背景に集合写真を撮りました。聖堂の外観は、フランスにある聖堂と造りが似ており、植民地時代の名残があるのだなと思いました。

統一会堂では、通訳の方に案内・説明を受けながら中を見学しました。ベトナムが南北統一する前の、南側の大統領官邸だそうで、内部には謁見室や会議室がありどこも豪華でしたが、大統領が逃げるための地下通路などもあり、当時の様子を物語っていました。

そして、ホーチミン市二日目は、企業・大学を見学しました。TBM - MINH PHAT という企業を見学しました。TBMは主に食品容器や化粧品容器を製造していて、ベトナムの中小企業の中でもトップだそうです。トップの理由として、まず、他の企業が中古の機会を使っている中、新品を使っていること、原料の処理を社内で行っていることだそうです。トップの企業はそういうところに気遣っているのだなと勉強になりました。そこでは、私たちに馴染みのある e - ma の容器やディズニ

ーシーのコップ等も作っていると聞き、驚きやありがたみを感じました。

2. ハノイ市

ハノイ市は、ベトナムの首都で、高速道路や鉄道がみられ、交通がホーチミン市よりも発達していました。

ハノイ市一日目は、企業・大学・国会議事堂見学を行いました。CNC という企業を見学しました。携帯電話、自動車等の部品の製造・組み立てを行っているそうです。職場はデザイン部と製造部、二つの部署でわかれており、社内で設計から製造の行程を行っていました。

デンソー、Canon、Panasonic といった日本の有名企業を顧客としており、日本にとって重要な存在であることを知りました。製造は機械で行われており、従業員は設定・管理を行っていました。簡単そうですが、少しでも設定を間違えると品質に問題がでてしまうので、気が抜けない仕事だなと感じました。デザイン部では、3DCAD を使い、設計をしていました。私は、学校で取り扱ったことがあったので、学校で学んだ技術がこういった場で活かされるのだなと納得できました。

国会議事堂では、ベトナムの国会議員の方と交流し、中にある博物館を見学しました。交流の中で、議員のベトナムを発展させたいという思い、ベトナムのことをもっと他国に知ってもらいたいという思いが伝わりました。中に入るだけでなく、国会議員の方と交流することができ、貴重な体験をすることが出来ました。



国会議事堂にて

ハノイ市二日目は、市内観光を行いました。ホー・チ・ミンさんのお墓、タンロン遺跡を回りました。

ホー・チ・ミンさんのお墓では、本人の遺体や、家を見ることができました。遺体が本物であることを知り、驚きました。タンロン遺跡は世界遺産に登録されており、約 1000 年前の王朝が築いたものだそうです。1000 年経っても、形をあまりくずさずに残っていて、大事にされているのだなと思いました。

3. 大学見学

私たちはホーチミン市とハノイ市内にある大学で見学・交流をしました。ホーチミン市の大学では、夏休み期間のため交流はできませんでしたが、教授の話の聞いたり、学内を見学することができました。教授の話によると、現在ベトナムでは、高校卒業後に、就職せず、大学に進学する生徒が多すぎるという問題があるそうです。また、英語を大学で学んでも、使えていないこと等、日本と同じような問題があり、もっと学生が他国とふれ合う場が必要だと感じました。学内には、図書館やコンピューター室等の施設があり、実習室には機材がそろっていて、設備が充実した学校だなと感じました。

ハノイ市の大学では、現地の学生との交流会が行われました。交流会では、ベトナムの歌や踊りといった芸能に触れることができました。会場の全員が手拍子をしたりして、盛り上がることができました。交流会が終わると次は学内を見学しました。見学中も学生たちが場を盛り上げてくれて楽しく見学できました。見学の後は、学生たちと昼食をとりました。学生たちは、フレンドリーな人ばかりで、とても接しやすかったです。学生と記念写真も撮れて、満足しました。昼食の後は、日本から持ってきた竹とんぼを使いみんなで遊びました。飛ばす高さ競い合いなどして、楽しく遊ぶことができました。思い出に残る交流会になりました。



現地の学生と

4. ハロン湾見学

ハロン湾は世界遺産に登録されている観光スポットです。観光は、クルーズで4時間行いました。まずは、ハロン湾の島の中にある鍾乳洞を目指して、ハロン湾を移動しました。その途中にある岩などには、動物の形をしたものがあり、飽きることなく観光できました。そして鍾乳洞につき、中に入りました。中は思っていたより広く、スポットライトに照らされた岩などの風景がとても幻想的でした。

鍾乳洞を見学した後、船に戻り、船内で昼食をとりました。ハロン湾で獲れたものを使った海鮮料理を食べました。友人たちと語りながら食べて、とても楽しい食事会となりました。



鍾乳洞前にて

5. 感想

今回の海外研修で私は多くの事を学びました。まず、私は一人で県外に出たことがなく、集合場所に一人で辿り着けるのが不安でしたが、案内板等に情報が書いてあったりして、

案外一人でいけるものだと自信ができました。この経験で自立へと近づけたと思います。

また、他県から来た研修の仲間達と出会い、話し、ふれ合うことで、他人と関わる楽しさを改めて感じました。

ベトナムでの生活では、現地の人との会話や、水道水が飲めないという事で苦しみました。ですが、苦しい事ばかりではなく、学生との交流や観光、初めてのベトナム料理など、楽しい事がたくさんあり、研修をやり通すことができました。会話については、相手が何を言っているか聞き取れれば、下手な英語でも通じることを体験でき、学校では英語を聞き取る力をもっとつけたいと思いました。

あっという間の7日間でしたが、研修で見て、聞いて、学んだことは、私の中では、かけがえのないものになりました。今回の海外研修に関わる全ての人々に感謝しています。ありがとうございました。

ベトナムを学んだ一週間

沖縄県立美里工業高等学校
建築科 3年 生徒

1. 大学訪問・交流会

今回の研修のメインであるベトナムの大学生との交流、大学の施設見学が一番楽しみにしていました。

まず、4日目に訪問したホーチミン市内の工業大学では、先生方が懇談会を開いてくれました。そこでは、大学のカリキュラムを説明してくれました。説明の中で、いずれはアジアでもトップの学校にしたいという話が印象に残りました。ベトナムが教育熱心だということがよくわかりました。

次に、6日目に訪問したハノイ市内の工業大学では、交流会を開いてくれました。学生さんが歌やダンスで歓迎してくれて、すぐ仲良くなることができました。施設の見学では日本の工業高校でも使われている旋盤などの機械があって親近感が湧きました。また、JICAの方が日本式の技能検定の

普及に大学の方と協力していて、日本との意外なつながりが垣間見ることができて、驚きました。最後に学生さんたちと一緒に日本の文化学習として竹とんぼをみんなで飛ばしたことはいい思い出になりました。



交流会で仲良く一緒に



仲良くなった記念に

2. 企業見学

企業見学はまず、4日目にプラスチック加工工場を見学しました。工場はホーチミン市の郊外にあり、今年で創立21年を迎える大きな会社でした。社長さんが過去に手がけた商品を紹介していると、その中には見覚えのあるものがありました。それは日本のお菓子の容器でした。どうやって、日本から仕事をもらうのか気になって質問してみました。すると、JICAさんやJETROさんを通して仕事をもらっていると教えてくれました。工場見学では、整理整頓や清潔などの言葉が工場の一隅に書かれていて、日本のいいところを見習っていて感動しました。次に、6日目に機械の設計、製造をしている企業を見学しました。

社長さんは過去に日本の企業で働いており、その経験を得て起業したと聞きました。起業する際に銀行から融資してもらえずに、親戚など周りの人からお金を借りたことが一番大変だったと話してくれました。JICAのシニアボランティアの方に技術支援してもらっていると聞いて、JICAさんの活動の広さに驚きました。

3. 観光

観光では、ベトナムで有名なスポットをたくさん見ることができて満足でした。ベトナム戦争が終結した統一会堂、戦時中に使われていたクチのトンネル、国会議事堂、ホーチミン廟、世界遺産のタンロン遺跡やハロン湾などを回りました。中でも、ホーチミン廟が興味をひきました。直立不動の兵士に守られたご遺体はベトナムの独立の父として大変尊敬されているのだと思いました。



ハロン湾観光

4. 感想

今回初めて海外研修に参加してより一層視野が広がったと感じました。この経験を生かして成長していきたいと思います。

最後に支援して下さった全国工業高等学校長協会の方々、添乗員さん、ガイドさん、通訳の方、推薦してくれた先生、旅費を出してくれた両親に感謝しています。このような経験ができたのも皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

ベトナム研修に参加して

新潟県立新津工業高等学校
工業科 教諭 平田 直樹

このたびベトナムへの高校生海外研修の旅行団の一員に参加させて頂きました。20人の参加生徒は皆各地区の代表であり、結団式や事前研修での自己紹介の様子から、この研修で自分を磨こうという強い意気込みが伝わってきました。

ベトナムには多くの日本企業が現地に工場を構えたり、技術支援に訪れたりしています。ホーチミン市内をバスで移動中にも、工事現場に日本の建設会社の名前が書いてあり、日本の技術が生かされている様子を知ることができました。

また、偶然にも往路の飛行機で隣に座った男性も、これから橋の建設の技術支援のためにホーチミン近郊に行くところで、一カ月くらい滞在するとのことでした。

1. 大学見学

今回の研修ではホーチミンとハノイで一校ずつ大学の見学をさせて頂きました。どちらも、実習棟は日本の短期大学か専門学校のような雰囲気を感じました。ただ、少し古い機械も多く残っていたのが気になりました。生徒たちは、設備の多くが日本の工業高校で使っているものと類似のもので、工業技術の学習は他の国でも同じだということを理解したと思います。

特にハノイ工業短期大学では国際協力機構（JICA）の支援で技能試験の訓練を行っており、旋盤の技能試験への取り組みの様子を聞くことができました。

同じくハノイ工業短期大学では学生たちとの交流において、生徒の生き生きとした姿を見ることができて良かったと思います。連絡先を交換した生徒もいたようなので、今後も交流が続いていくことを期待したいと思います。



歓迎のダンス

2. 企業見学

今回見学させていただいた二つの企業はどちらも日本で研修を積んだ方が社長を務めている会社でした。5S活動やカイゼン活動の重要性、それを企業全体に周知徹底させるために頑張っていることを教えていただき、さらに5Sやカイゼンを行った後での品質や効率の向上についての話がありました。



5Sのポスター

3. 観光について

今回のツアーでは日本語の堪能な現地ガイドが添乗しているため、名所旧跡での説明を日本語で聞くことができました。また、バスでの移動中にもベトナム国内の様子やベトナム国民の旅行の仕方など、ガイドならではの情報を事細かに聞くことができました。個人旅行では得られない、ガイド付きツアーの良さを感じることができました。



クチのトンネルの秘密の入り口

4. その他

ベトナムの通貨は100円＝約20,000ドンというレートで紙幣にもゼロが多く、なかなか慣れることができませんでしたが、参加生徒は、それを楽しむかのように市場や土産物店で買い物をしていました。やはり若い人たちは順応性が高いと、感心しました。また、個人営業の店が多く、最初は値段を高め提示してくるので値段交渉が大変でしたが、これも生徒たちは慣れるのが早かったようです。

5. 感想

一度訪れた地域のニュースがテレビの映像で流れると、じっくり見たくなくなったり、更に調べたくなくなったりします。特に現地の人との交流があったりした場合は尚更だと思います。その意味で、今回旅行団がベトナムを訪れたことはそれだけでも、両国の友好に貢献しているのだと信じたいと思います。そして将来、海外に赴任することになったとしても、今回参加した生徒は臆することなく行けるのではないかと思います。

今回は新潟県からの希望者がいなかったため教員の参加となりました。次回は生徒が参加できるようこの研修の素晴らしさを伝えていきたいと思います。

最後に、今回の引率の宮下先生、松崎先生を始め、全工協の皆様、ベストワールドの関係者、そして送り出してくれた勤務校職員各位に御礼申し上げます。

第1回ベトナム研修に参加して

三重県立桑名工業高等学校
機械科 教諭 石倉 正二郎

1. 参加前準備と結果

本研修に参加する方に、私が事前に行った行動をご紹介します。自身これまでにこれほど渡航先の事を調べたことはありませんでした。ベトナムについてパッと思いつくことは、ASEAN 諸国の一国、TPP、ベトナム戦争、ベトナムドクちゃん、Goodnight Saigon (Billy Joel) ぐらいでしたので、観光誌は勿論のこと、歴史など国の成り立ちや、昨今の現状などを理解するため、「ベトナムのことがマンガで3時間でわかる本(明日香出版)」と「ベトナムで新しいモノづくりは実現できるのか-モノづくり中小企業ネットワーク計画-(日刊工業新聞社)」を読み、ネットではベトナム総合情報サイト「VIETJO(ベトジョー)」で最新情報を得て知識を深めました。さらにはベトナム映画を鑑賞し、近所にあったベトナム料理店へも足を運び、体を慣らしました。

また、スマホアプリでは「HIS スマートスケジュール」、「maps.me」、「Google 翻訳」、「Currency」、「指さし会話」、「AccuWeather」をインストールしましたが、「AccuWeather」しか利用しませんでした。このお天気アプリによりますと、現地ではこの時期は雨季の真っ只中であり、気温は日中35℃を超え、体感温度が45℃以上(7月上旬に1度だけ50℃表示を確認!!)を表示しており、湿度も常に80%を超え、多雨でしかも雷雨。日本の梅雨以上の過酷な環境が優に想像できました。社会科の資料集には、世界各地の気候を紹介するページにおいて、道路が冠水している中をスクーターが、前輪3分の1が水没し走行している写真が掲載されていました。そして想像は膨らみ、町中が冠水し、革靴がパーになってしまうであろうから、長靴がいるのではないかと、嫌、その状況なら初めからサンダルで乗り切ろうとか、私服は現地調達も有りで

しょうが、そんな時間はとれないだろうとか、
カッターシャツはホテルのクリーニングサー
ビスでも考えましたが、各所を転々とする
旅程から利用は困難そうだとか、色々と葛藤
しながら、最終的に私服以外にスーツ上下 1
着、長袖カッターシャツ4枚、スーツ下2本、
ベルト2本、革靴2足に、¥100 均雨合羽上下
1セットを用意していきました。

しかし、現地を訪れると、日本とほとんど
変わらない気候で違和感なく過ごせ、何となく
梅雨の末期のように感じました。ホーチミン
シティではバス移動中にスクールに遭遇し、
ハノイ市内でも明け方に台風直撃とタイミン
グが良く、冠水もなく、終始天候に恵まれ、
スーツケースのかさをかなり取りましたが、
これらの装備で充分でした。

この他に医薬品等で、目薬、風邪薬、胃腸
薬、下痢止め薬、頭痛薬、蚊取用薬品、虫刺
され用塗薬、蚊よけシート、冷やりシート、
ポカリスエット粉末、カロリーメイト、便座
除菌シートを持っていきました。ちょうど外
務省から蚊が媒介するジカ熱の注意報レベル
1 が発表されており心配でしたが、蚊との遭遇
は移動バス内で吸血後の膨らんだ1匹のみで、
後にも先にもこの1回きりで助かりました。

2. 現地に到着後

①企業見学において

日本の ODA の協力もあり、ホーチミン市
郊外にあるプラスチック部品を製造する企業
(TBM - MINH PHAT 社) では、5S と書かれ
た看板が企業出入口横に掲げられており、企
業内外を觀ても日本企業と何ら変わりなく感
じられたし、本校も所有しているファナック
社の射出成形機があり親しみを感じました。

またハノイでは、生産ラインをはじめ、様々
な専用機械を製作する企業 (Vietnam CNC 社)
においても、従業員がかつて日系企業で働き、
そこで得たノウハウを活かし、ここ9年ほど
で急成長を遂げ事業拡大している現状に驚き
ました。5S、QCは当然で、工場内の壁面
に、日本では緑十字に安全第一といった標語

が一般的ですが、人物や工作機械の絵を描き、
その中に注意事項を記載した看板が随所に掲
げられており、非常に解りやすく、伝わりや
すいと感じました。この他にも現行モデルの
DMGMORI 社の MC が 5,6 台稼働しており、
設計室では 10 名程度が 3D - CAD で設計をし
ている姿から、日本の一企業と何ら変わらない
印象を受けました。



きれいな工場内の壁面に掲げられた看板

②学校視察では

ハノイ職業訓練学校では JICA の内野氏が
招待されており、ものづくりの分野において
技能検定 (旋盤 3 級、2 級)、(フライス盤 3
級) の指導に日本のトヨタ(株)やデンソー(株)
の現役社員が度々技術指導に訪れ、今年で3年
目を迎えたが、2 級合格者はまだ輩出されて
いないとのことでした。



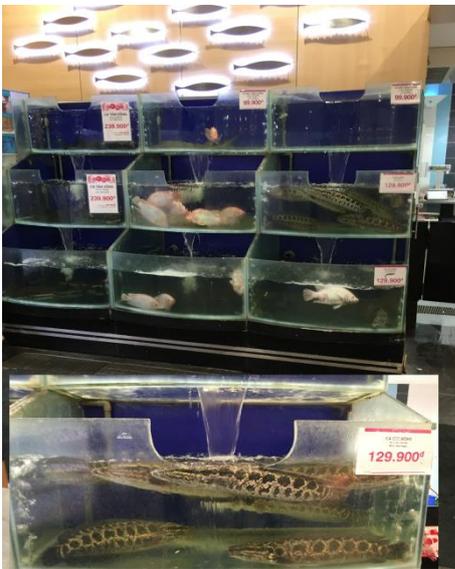
ハノイ職業訓練校にて頂いたパンフレット

③買い物について

現地では持参した US\$ を使いました。おつりを現地通貨ドンでもらうなどしました。ホテル近郊のスーパーマーケットへ2日間行きましたが、初日のレジではすぐに電卓でドン換算してくれて US\$ 対応してくれましたが、翌日の店員さんは換算対応してくれなかったのです。運に左右されますが、充分利用できません。

お土産などの布製品やコーヒーは、空港の方が安かったです。

物価は日本の 1/3 と言われますが、イオンで見た NB のスニーカーは 100US\$ しており、日本とそう変わりありませんでした。



イオンの鮮魚売場で食用ライギョ発見!!

3. 帰国後思うこと

VETOJO を見ると、「台風 3 号上陸、ハノイで 1 人死亡、倒木 667 本などの被害」、他にも滞在ホテルの前での「ホーチミン：歩行者天国でバランススクーターのレンタルが人気」、車窓から見た高島屋の工事風景も「「ホーチミン高島屋」7月30日オープン、ベトナム1号店」とニュースになっており、まさに話題の中心地にいたんだと実感しました。

車窓から見たホーチミンシティでの清水建設と前田建設による合同地下鉄工場の現場やハノイの高速道路といったインフラ整備が日本企業によるものと知り、嬉しく思いました。

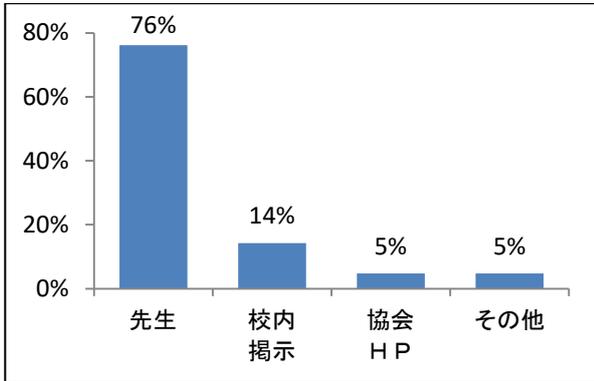
4. おわりに

本校にて海外インターンシップが実現されるのかどうかは解りませんが、今回の研修で得た知識、経験から実現に向けて下地を構築するための助けになりました。また、卒業生の海外赴任が増加傾向にありますし、これらの事を生徒達に還元していく所存です。

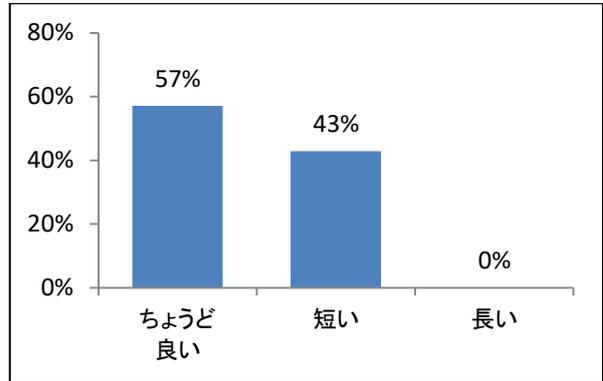
今回の研修は非常に内容の濃い充実した素晴らしいものでした。関わっていただきました全ての皆様、大変お世話になりました。どうもありがとうございました。

8. アンケート結果

1. 海外研修はどこで知りましたか？

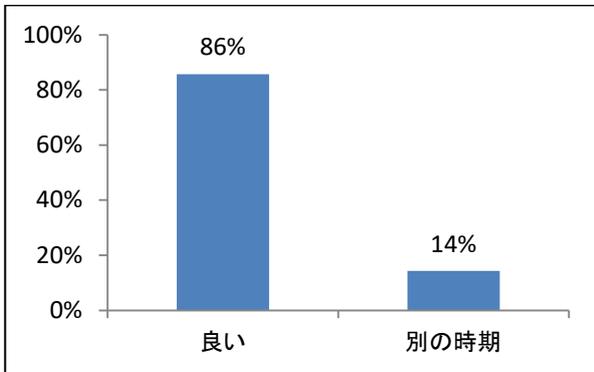


2. 期間（7日間）はどうでしたか？



【短い】10日間希望—5人、14日間希望—3人

3. 時期はどうでしたか？

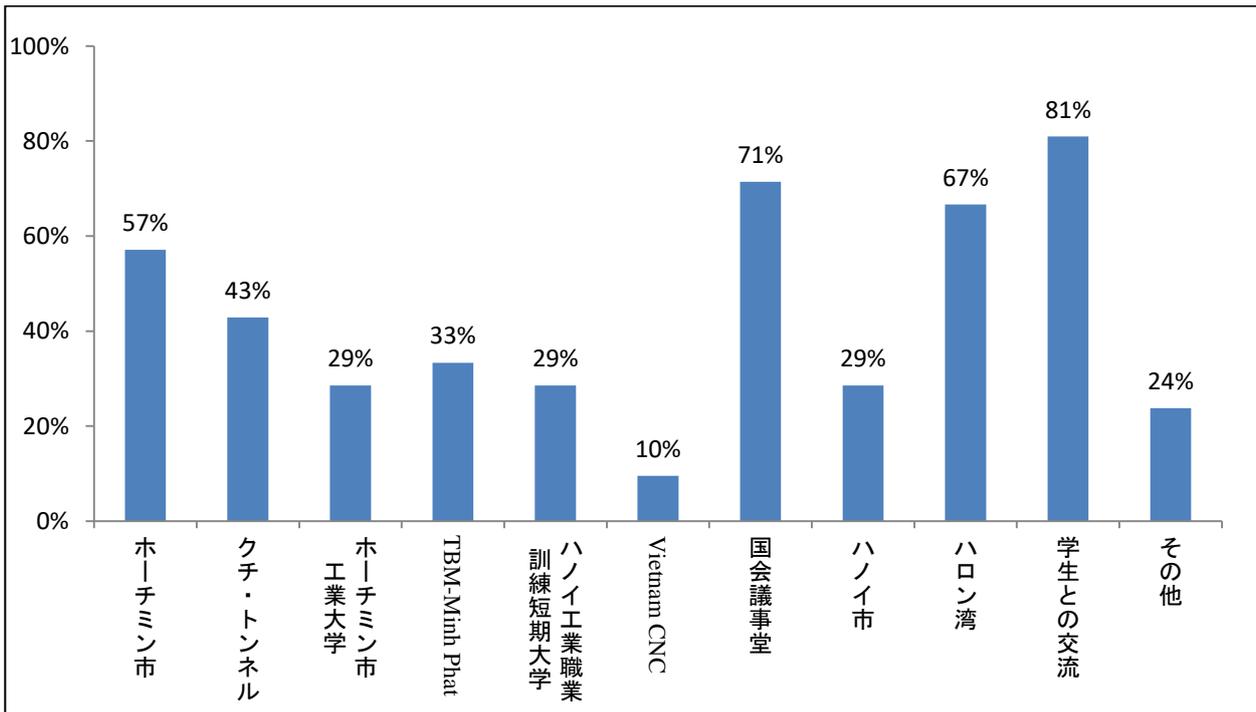


【別の時期】10月頃希望—1人、11月頃希望—1人、12月頃希望—1人



ハノイ職業訓練短期大学

4. 訪問先で良かったところをお答えください（複数回答可） ※次ページに訪問先ごとの感想



—① ホーチミン市について

- ガイドさんが楽しい人でした。
- ハノイよりもぎわっている気がして、よりベトナム色を感じられたと思います。
- 市場では、物価の差を感じられた。
- 街はきらびやかで、バイクも多く、見ていて飽きなかった。
- ホーチミン市は想像していたものよりも現代的でとても刺激を受けた。
- 市場を後の方に回してほしかった。
- とてもおもしろい所でした。
- 郵便局や市場に行けて、とても楽しかった。
- 中央郵便局が印象的でした。造りがきれいでした。
- 街の騒がしさや汚さがベトナムらしくて良かった。
- 工場でお話を聞けた。
- サイゴン大聖堂では、ピアノやダンス、麻雀など当時の貴族の暮らしがうかがえた。
- 中央郵便局では、周囲にたくさんのお店があり魅力的だった。
- 自分が見たことがない町でとても活気があり、バイクも多かったです。
- ベトナムで最も大きい都市なので活気にあふれていてよかった。
- 各見学施設やレストラン、車窓からライフスタイルや都市開発を直に知りえたところ。

—② クチ・トンネルについて

- ベトナム戦争をより身近に感じることができました。
- 実際にトンネルに入ってみることで歴史を肌で感じることができた。
- クチトンネルではベトナムの暗い過去を垣間見ることができ、命の尊さを感じることができた。それと同時に現代日本がいかに平和な世の中か実感しこれまでとは違った価値観で平和を考えることができるようになった。
- 戦争跡を見ることは中々ないのでとても興味深かった。
- 少しバスの時間が長かった。
- 貴重な体験ができて嬉しかった。

- トンネル内見学
- 日本の戦争とはまた少し違った戦争でくわしく知れてよかった。
- ベトナムの歴史が学べました。
- 戦争の時の資料を見た。当時の人の生活を伺った。
- 戦争に巻き込まれた住民の過酷な戦いの様子見ることができた。

—③ ホーチミン市工業大学について

- 日本の大学と比較することができる。
- とてもためになる見学だった。
- 教授との懇談会をした部屋の家具のほとんどが日本製で驚きました。
- 交流の時間もほしかったです。
- 副校長のお話が聞けた。
- ベトナムが教育に力を入れているのが良く分かった。
- 他国の工業大学が見学でき、状態を知りえて良かった。

—④ TBM - Minh Phat について

- 設備、品質についてのお話など、すべて楽しめました。
- 社長含め、勤務されている方が明るかったです。
- シン社長がとても良い人で、女性社員も多く、5Sなど積極的で勉強になった。
- 私は化学工学科なので化学プラント以外の機械には詳しくなく、工場見学はいまいち理解できなかった。
- 社長さんから聞いたQCやカイゼンについてのお話はとても有意義なものであった。今回の研修の中で最も勉強になった。
- 知っているものも作られていて驚いた。
- 容器の型を自分の会社で一から作っていると聞いてすごいなと思いました。
- 勉強になりました。
- 日本でも使っているものがこの企業で作っていることが分かった。
- 日本から学んだ5S活動を行っていて他から学ぶことの大切さをまなびました。

越系企業を見学できた点が良かったです。

—⑤ ハノイ工業職業訓練短期大学について

とてもフレンドリーだったが、校舎が古かった。

日本の資格を取るための勉強に力を入れていました。

もっと交流の時間がほしかったです。

現地学生との交流がとても楽しかった。

現地の大学生と交流をした。陽気な人が多かった。

工業高校生として、施設や授業の説明が聞けて嬉しかった。

JICA の方もおみえで情報を頂けたので良かったです。

—⑥ Vietnam CNC について

見たことのない CNC があり、ためになった。

自動車の組み立てを見れた。

越系企業を見学できた点が良かったです。

—⑦ 国会議事堂について

私は日本の国会議事堂にも行ったことがなかったのが初めて訪れた国会議事堂だった。

私の勝手なイメージで社会主義国の政府機関は少し怖いように思っていたがそんなことはなかった。

普段見学できない博物館も見ることができた。

外国の国会議員の話の聞けるのはとてもありがたかった。

ベトナムに来てよかったと思いました。

地価の博物館を見学できて、すごいと思いました。

国会対外委員会副委員長、元国連大使との面会

貴重な経験ができました。

一般人の入れない博物館に入らせていただいて嬉しかったし、ベトナムの歴史にふれることができたので勉強になりました。

普段入れないところに入れた。

普段は入れないような施設に入らせてもらってとても感動した。また、博物館も見学させていただきました。

内装がとてもきれいで地下にあった博物館ではベトナムの歴史をより深く知ることができました。

中ではベトナムの歴史的なものを見た。

ベトナムの国会議員の方の話を聞いた。

滅多に行けない場所なので良いと思った。

現地のガイドも入ったことのない施設に入ることができた。

外務次官との面会や、地下の非公開施設を見学させて頂くなど VIP 待遇を経験させて頂けたところ。

—⑧ ハノイ市について

ホーチミン市をガイドさんが第二の都市と呼んでいたのがハノイ市の方が発展しているのかと思っていたが、ホーチミン市よりも静かな都市だった。しかしハノイ市も発展していて海外からの旅行者が多くいた。ホーチミン市とはまた違った刺激を受けた。

都会でした。もう少しちゃんと見たかった。

ホーチミン市と比較してとても整備されていてきれいでした。

国会議員さんが座る椅子に座れた。

ホーチミン市とは違う町並みでとてもきれいでした。

ホーチミン市とは違い車が多く走っていて、日本に近い雰囲気があった。

各見学施設やレストラン、車窓からライフスタイルや都市開発を知りえた点と、ホーチミン市と比較することができた点が良かったです。

—⑨ ハロン湾について

船内の人が明るく楽しい人でした。

景色もきれいでした。

仲間との良い思い出作りができた。

ハロン湾はベトナムに行く前から本やネットを通じ知っていた。想像していた通りとても綺麗な場所で、なにか神聖な感じがした。

とても良い経験となった。機会があれば今一度訪れたい。

- 世界遺産とはどのようなものか、この目で見る事ができてとても良い体験だった。
- 外国の世界遺産を見れて良かった。
- 晴れていればもっと良かった。
- 綺麗な景色が見られたし、クルーズも面白かった。
- クルージングが思っていたより豪華でした。
- 雨が降ってしまったけどとてもきれいだった。
- 世界遺産のハロン湾の壮大さに心がおどった。船上ランチもとても美味しく大満足だった。
- 景色がとてもきれいで食べ物もおいしかったです。
- 海の上で海鮮料理を食べた。日本とは違う味を楽しめた。
- 世界遺産であるハロン湾をクルーズで4時間楽しんだ。
- ベトナムの世界遺産はぜひ見て欲しいです。
- 世界自然遺産の景勝を見られて良かった。
- 世界遺産である景勝地でクルーズできたところが良かったです。

—⑩ 学生との交流について

- 比較的年齢の近いベトナム人との交流ができる。
- 日本語も英語も伝わらなかったが、ジェスチャーで楽しく過ごすことができた。
- 現地学生との交流は相手の国の文化やそれぞれの国特有の間の取り方、コミュニケーションの方法などを学ぶにはとてもいいものだと思う。
- 異国の学生と自分たちの違いがわかった。
- 母国語以外の言語を使うことで、より相手に伝えたくなくなった。
- 1日中でも良かったと思う。
- 少しの時間だったけど、交流できて本当に良い経験になった。
- 明るい学生さんが多くて、とても楽しく文化交流ができました。

- 現地学生との昼食、竹とんぼ遊び。
- 言葉は通じなかったけどものすごく楽しめました。
- 大学生の方がとても積極的に話しかけてくださって話しやすかったです。
- ベトナムの食べたことない食べ物も食べられたので良かったです。
- 英語が伝わらなくて会話が難しかったけど、海外の人との交流は良い経験になりました。
- 大学生がとてもフレンドリーでした。
- どの人も積極的に接してきてくれて嬉しかった。日本人ももっと積極的に人と接しければいいなと思いました。
- 現地の学生たちと昼食を一緒に食べたり、竹とんぼで遊んだりした。
- 現地の学生はとても親切ですぐ仲良くなった。
- 参加生徒が、お互い生き生きと交流している姿が見られた。
- 異文化を知ることができ、最後の竹トンボでは一層盛り上がったところが良かったです。

—⑪ その他

- 市場が本当に良かったです。たった一度の訪問、しかも30分とはもったいないと思います。現地の人と交流もできました。
- 食文化にふれる事ができて良かったです。
- 現地のガイドに、日本語でいろいろ聞くことができて良かった。
- 日系大型ショッピングセンターにも行くことができて良かったです。

5. 意見・感想

- 参加させていただきありがとうございました。とても充実した研修になりました。次年度の研修がより良いものになるようお祈りしています。
- 少し意見があるのですが、一人部屋だとお化けが出るのでやめた方がよいと思います。特にハロン湾でのホテルは危ないです。また、仲間との交流も必然的に減ってしまうのももったいないです。

□学生と交流する時間が短いように感じられました。

□現地の商人をどのように遇えばよいのか、また、物を買うにあたって、どのように交渉すればよいかを最初に教えてほしいです。

□研修内容はとても充実するものでした。

□3万円の参加費で、1週間もの間、貴重で二度とできないような様々な体験をさせていただいたことを嬉しく思います。

□ほぼ初めての海外旅行で不安は大変多かったのですが、パスポートの紛失や大きなケガなどもなく、現地のガイドの方や運転手の方、ツアーの方を含め、企業の方、大学生の方、大学の先生など、みなさんととても良い方ばかりでした。

□見ず知らずの全国の高校生と過ごすことも不安がありましたが、すぐに打ち解け大切な友達となりました。

□食事量が多いことや、私服と制服の使用度などを事前に伝えていただきたかったです。

□市場などの価格が低い場所での土産を買う時間を多くしてほしいです。

□食事はどこもおおいかったが、滞在中は特に運動をするというわけでもなく、そこまでお腹が減らなかった。それに加え、食事と食事の間が短いように感じた。お店によっては大して手を付けられず、ごちそうさまをしまうこともあって、とても申し訳なさを感じた。

□異国の人間や食べ物、生活、環境、そして文化を知ることができ、また日本全国から集まった仲間と短い間ではあったが強い絆ができ、とても良い海外研修だった。だが、もう少し時間があればもっとその国のことや互いのことを知ることができたと思う。

□とても短い期間だったが、地方の方々や外国の方との交流ができて、とても良い経験になりました。ありがとうございました。

□駅などの見学もあって良いと思います。工業の発展と鉄道の発達は強く結びついていると思うからです。

□ベトナムは、いま急成長していることが分

かりました。

□どの企業や大学へ行っても、日本の技術や知識に期待しているという話しをしていたので、自分の国を改めて誇りに思いました。

□私は大学の生徒さんとの交流が一番の思い出です。文化の違いなどもたくさん知ることができたし、明るく楽しい交流になりました。

□移動が多く見学とか交流の時間が少なかったから、もう少し予定を工夫して見学や交流の時間があればもっといいと思った。

□現地学生との交流の時間がとても短く感じた。僕は言葉が全く分からない相手といかにかコミュニケーションが取れるかを楽しみにしていたので、丸1日交流時間が良かったと思った。

□初めてベトナムへ行って、行く前はまったくどんなところが想像できないくらい未知の世界でした。でも、実際行ったら、街の様子や人々など日本とはまったく別世界でとても良かったです。

□発展途上のわりによく整備されていて驚きました。しかし、色々なところで大きな工事をしていたので、これから発展していくんだなと思うと、私も働きたいと思いました。

□楽しすぎて帰ってきたくありませんでした。またベトナムに行きたいと思いました。

□今回の海外研修を通して、普段の海外旅行では体験することのできないことや、人間関係も学ぶことができました。この経験は将来の自分に必ず役に立つと実感できました。とても良い経験だと思います。もし、またこのような募集があれば、ぜひ参加したいと思います。そして、将来に役立てたいです。

□海外の土木についても知りたかったです。

□もう少し現地学生と交流したかった。

□移動がバスばかりで歩きたかったです。

□とても良い経験になりました。

□最初は不安でしたが、全国から集まった生徒みんな優しくてすぐ打ち解けました。

□今回の研修はどれも初めてのことばかりで新鮮でした。

□自分たちの住んでいる地域だけではなく、

世界に目を向ける。そうすることで新しい何かを発見できると感じました。

□大学・企業の視察、学生との交流、市内の観光どれをとっても有意義かつ、貴重な体験でした。

□今回学び・見たものを今後の生活の糧とし、素晴らしい学校生活を送るとともに、将来を担う若者として工業を発展させていきます。

□私は今まで海外に行ったことがないので、今回の研修は自分にとっては初めてな事がたくさんありましたが、多くの人に出会い、交流することで不安を乗り越えることができました。

□今回の研修を終えて私は自分が経験したことがないことがあっても恐れず勇気をもって前向きにやることの大切さを学びました。

□これから先、自分がやったことがない事が起きても前向きに乗り越えていく自信ができました。この研修で学んだことを忘れず生かしていきたいです。

□時期的にもとても暑い時期だったのできつかったです。でも楽しかったことが多かったので研修に参加して良かったです。

□今回の研修で特に印象に残ったのは、ベトナムの学生との交流です。はじめは緊張しましたが、勇気を出して声をかけると、学生の方は笑顔で接してくれたので、緊張もほぐれうまく接することができました。写真も一緒に撮ることができ、良い思い出になりました。

□交流会の内容は大学側と打ち合わせをするべきだと思いました。

□私はこの研修を終えて視野が広がりました。英語ももっと学びたいと思います。本当に良い体験になりました。ありがとうございます。

□多くの観光地に、快適なバスで移動でき、日本語のできるガイドに説明を受けながらの旅行は、本当に勉強になりました。

□引率の先生方は夜まで日誌の確認をして大変だったと思います。大変お世話になりました。

□生徒が現地学生と交流したり、活発に質問

したりしている様子を見て、若い人たちの順応性と積極性に感心しました。

□新潟県でもこの研修の良さを紹介し、次回は学生が参加できるようにしたいと思います。
□添乗員の方から再三の注意を守っていても、体調を崩してしまった生徒の数が多かったので、気掛かりではあります。私も帰国後に腹の具合を悪くしました。どこに旅行しても同じようなものなののでしょうか。旅行社の方に聞いてみたいところです。

□大変お世話になりました。7泊8日ではありましたが、2大都市を渡り、内容が密で毎日がとても充実した満足のいく研修でした。どうもありがとうございました。



9. 結びに

第16回海外研修は、参加者22名（男子11、女子9、教員2名）で予定どおりに実施できました。参加者はじめ、ご支援いただいた保護者・学校関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

今回もブログを開設し、引率の松崎先生のかみ細かな対応で研修中の様子がリアルタイムでわかり、参加者のご家族や学校関係者にとっては、安全・安心への情報提供になったと思います。

本協会の海外研修は、第1回～10回がオーストラリア、第11～15回までがカナダ・アメリカで実施してきましたが、今回から経済発展の著しい東南アジアに研修先を移しました。

第16回は日系企業が多く進出しているベトナム社会主義共和国を訪問しました。夏の時期に熱い東南アジアを訪問することは、肉体的にも負担が大きかったと思いますが、感想やアンケートを見ますと大学や企業の訪問、ベトナム戦争の戦跡や世界自然遺産のハロン湾の見学、現地学生との交流など、とても充実した研修ができたことがわかります。

世界は、大きな変化に対応していく時代を迎えています。また、工業教育だけでなく様々な分野でグローバル人材が強く求められています。このようなことから今後の海外研修については、国際化事業推進委員会を中心に多くの皆様からご意見をいただきながら工夫改善して内容の充実を図っていきたいと考えます。

この海外研修は、参加した皆さんにとって大変貴重な機会であったと思います。生徒にとっては多感な思春期の海外体験として、教員にとっては非日常の海外体験として、それぞれの人生に大いに役立つことを期待するとともに参加した皆さんの今後の活躍を心から祈念します。

（この報告書は、本協会のホームページにも掲載します）



国会議事堂

国際化事業推進委員会委員

委員長	笹原 哲也（藤沢工科高校長）	事務局	山田 勝彦（全工協会事務局長）
委員	關 敏昭（京葉工業高校長）		石井 末勝（全工協会事務局次長）
	長濱 稔（三郷工業技術高校長）	引率	宮下 義弘（練馬工業高校長）
	鴻野 誠（中野工業高校長）		松崎 克哉（愛知総合工科高校）
	宮下 義弘（練馬工業高校長）		